

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度	橋梁補修工事（市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋） 三原市本郷町船木					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 橋梁補修 N=2橋 船木大橋 沓座モルタル補修工 V=0.2m ³ 塗装塗替 A=83.5m ² 伸縮装置補修工 L=28.9m 石井谷1号橋 断面修復工 V=0.69m ³ コンクリート表面処理工 A=25.3m ² 排水装置補修工 L=0.8m 橋梁水切り工 L=20.6m 仮設工 1式							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町船木 橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
 - ・特記仕様書（共通事項）（令和5年8月）広島県
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第3節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第4節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

6 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

1 現場の復旧 原形復旧とする。

第3節 安全対策

1 交通誘導員・警戒船・保安要員 それぞれの橋で作業期間中、交通誘導員を2（人／日）配置すること。

第4節 工事用道路

1 一般道路

使用期間	工事施工期間
使用時間	8時～17時
工事中・後の処理	随時 清掃 , 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工所用機資材の仮置き場所

受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査

1) 受注者は、洗浄後に本図をもとに詳細計測、試験を行い、補修数量の協議を発注者と行った後、補修を行うこと。

第3章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 施工箇所が点在する工事の積算

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、参考図書に示す工事箇所と施工箇所を基に次の算定方法とする

1 算定方法

(1) 工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、工種区分はその工事の主たるものを適用する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、工種区分はその工事箇所の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

(イ) 現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期, 工事期間, 施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

(ウ) 中止期間中の現場維持費等の費用

a 積上げ項目

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

b 率で計上する項目

対象額及び一時中止日数は施工箇所ごとに算定する。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお, 処分費等が「共通仮設費対象額 (P) + 準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合, 率計算の対象については, 工事箇所ごとに対象額を算出する。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または, その内容に疑義が生じた場合は, 監督員の指示を受けること。

数量総括表

— 橋梁補修工事（市道本郷町中筋横断線船木大橋外 1 橋） —

船木大橋

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮継手工		式	1	レベル3
鋼製伸縮継手補修	【伸縮装置非排水化工】	m	29	レベル4
橋梁用防護柵工		式	1	レベル3
橋梁用防護柵		箇所	3	レベル4
沓座モルタル補修工		式	1	レベル3
チップング		m2	1	レベル4
沓座無収縮モルタル工	【無収縮モルタル】	m3	0.2	レベル4
型枠	【沓座型枠】	式	1	レベル4
孔食補修工		式	1	レベル3
孔食補修工		m2	0.04	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル2
橋梁塗装剥離工		式	1	レベル3
塗膜除去		m2	167	レベル4
橋梁塗装工		式	1	レベル3
素地調整	【清掃・水洗い】	m2	84	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
素地調整	【2種ケレン】	m2	84	レベル4
下塗	【有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)】	m2	84	レベル4
下塗	【無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗(2層)】	m2	84	レベル4
中塗	【弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用、淡彩】	m2	84	レベル4
上塗	【弱溶剤形ふっ素樹脂塗料、淡彩】	m2	84	レベル4
洗掘防止工		式	1	レベル2
洗掘防止工		式	1	レベル3
袋詰玉石工 1 t用		袋	28	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【コンクリート殻(無筋)】	m3	0.2	レベル4
殻処分	【コンクリート殻(無筋)】	m3	0.2	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場工		式	1	レベル4
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
** 直接工事費 **				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
共通仮設費率分					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
** 工事原価 **					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

数量総括表

— 橋梁補修工事（市道本郷町中筋横断線船木大橋外 1 橋） —

石井谷 1 号橋

工事数量総括表

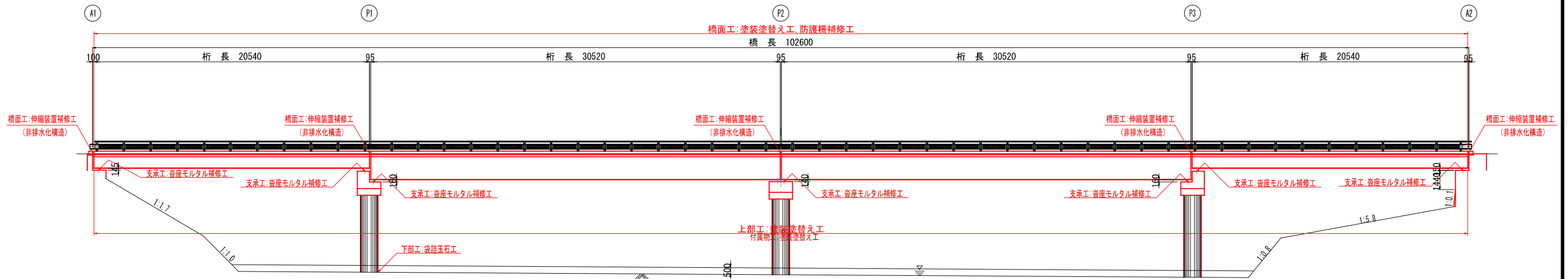
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁付属物工		式	1	レベル2
排水施設工		式	1	レベル3
排水管	【VP75】	m	1	レベル4
橋梁水切り材		m	21	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	【ポリマーセメント】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有】	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3
下地処理		橋	1	レベル4
表面含浸	ケイ酸塩系（鉄筋防錆効果付与）	橋	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【コンクリート殻（無筋）】	m3	0.7	レベル4
殻処分	【コンクリート殻（無筋）】	m3	0.7	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3

工事数量総括表

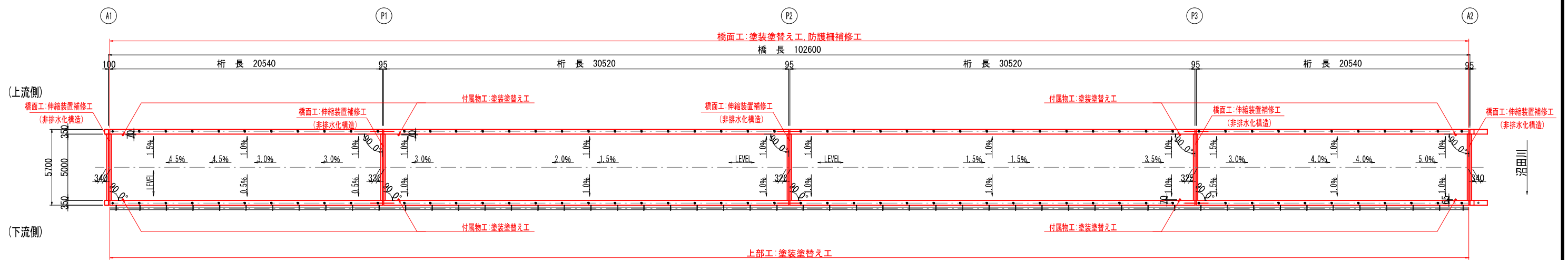
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
足場工		式	1	レベル4
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

船木大橋 補修計画一般図

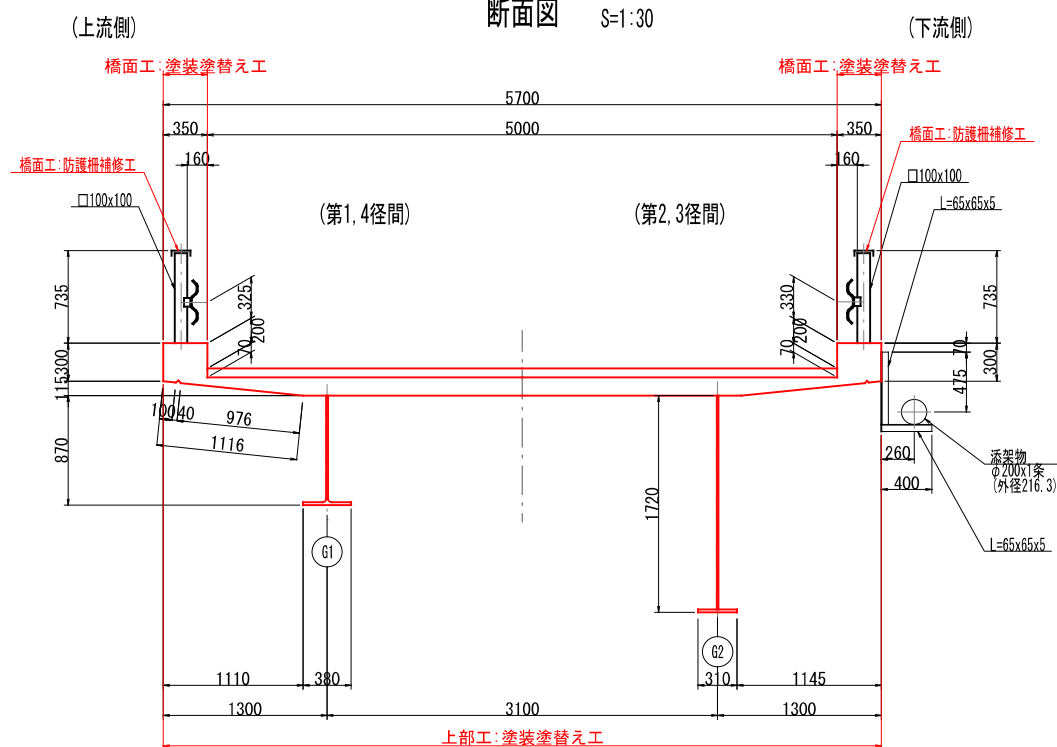
側面図 S=1:150



平面図 S=1:150



断面図 S=1:30



現橋調書

橋名	船木大橋
路線名	市道中筋横断線
架設年次	1970年(昭和45年)
橋長	102.600m
幅員	有効幅員 5.000m 全幅 5.700m
上部工	単純鋼桁橋
下部工	A1・A2橋台: 逆T式橋台 P1~P3橋脚: 張出式橋脚
添築物	下流側 φ200
斜角	90° 00' 00"

対策工法一覧表

伸縮装置補修工 (非排水化) 構造
袋詰玉石工
沓座モルタル補修工
塗装塗替え工
防護柵補修工 (部材取替)
仮設足場工
吊足場

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	1/18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番	1
路線名	市道本郷町中筋横断線	号	12
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

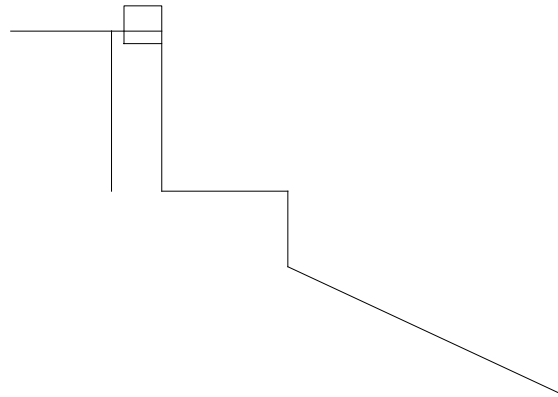
船木大橋 補修図(その1)

S=1:30

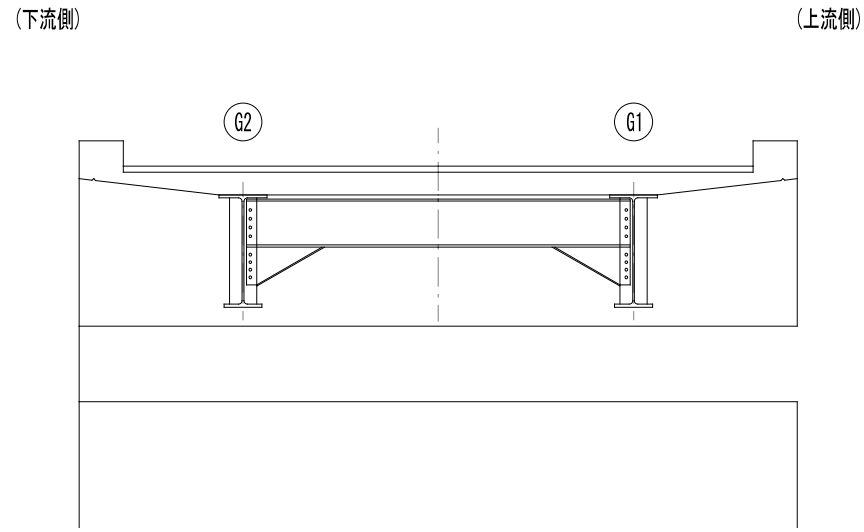
断面修復工(沓座モルタル)

A1橋台

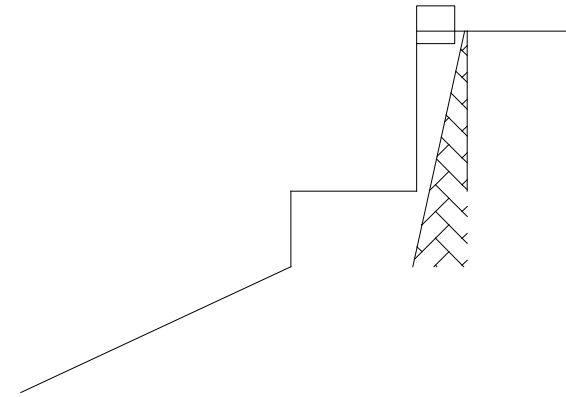
下流側側面図



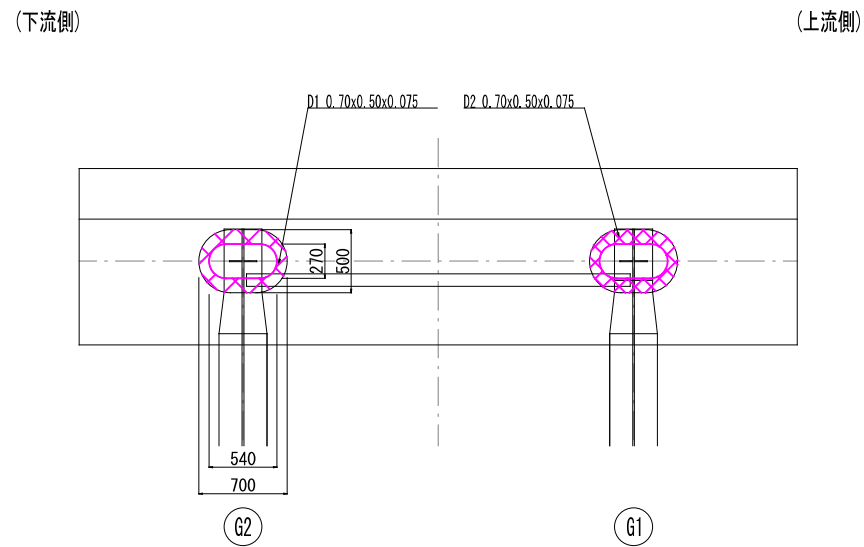
正面図



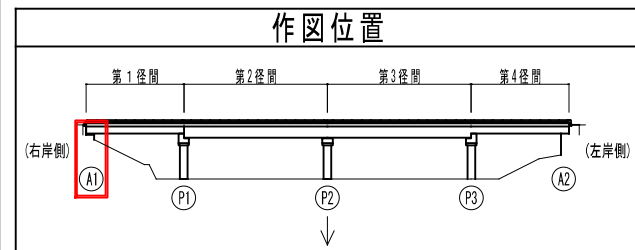
上流側側面図



橋座平面図



凡例



凡例

補修工法	
D	断面修復工(沓座モルタル)(左官工法)
D0-0.00x0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修高	

- ※ 本図面は、架橋時の設計図面を元に現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	2 / 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番	2 / 12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

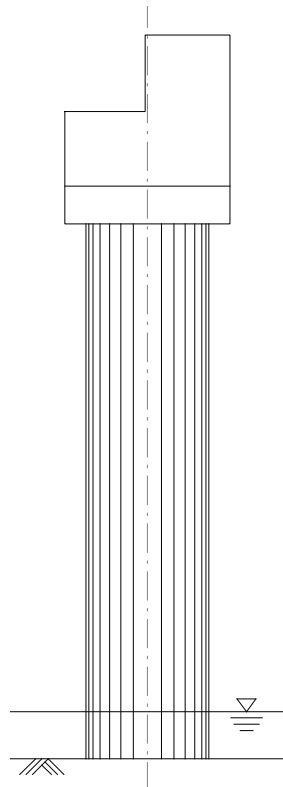
船木大橋 補修図(その2)

S=1:40

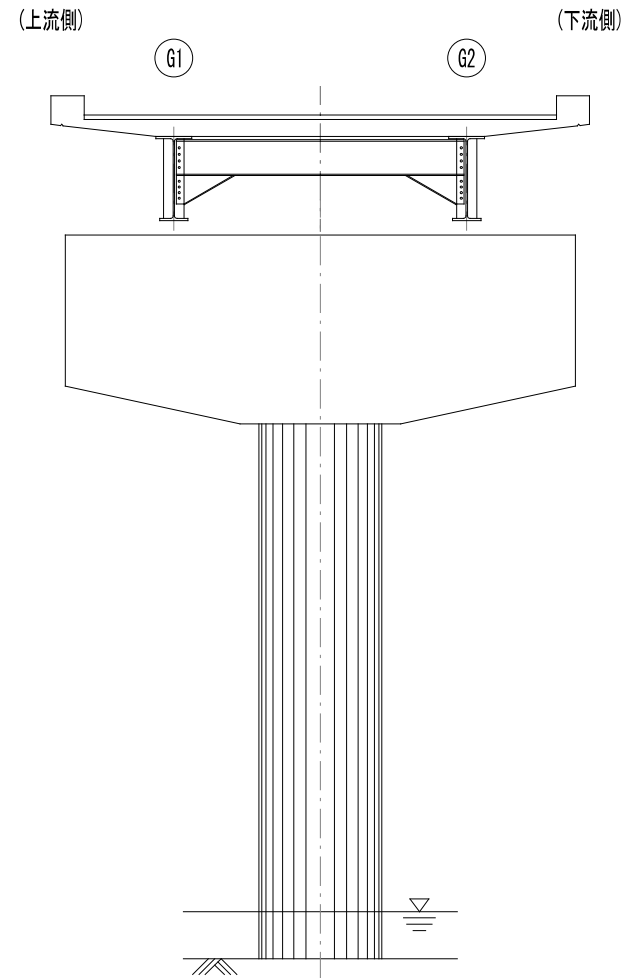
断面修復工(沓座モルタル)

P1橋脚

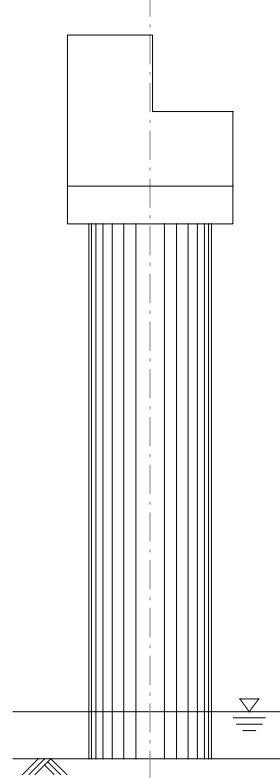
上流側側面図



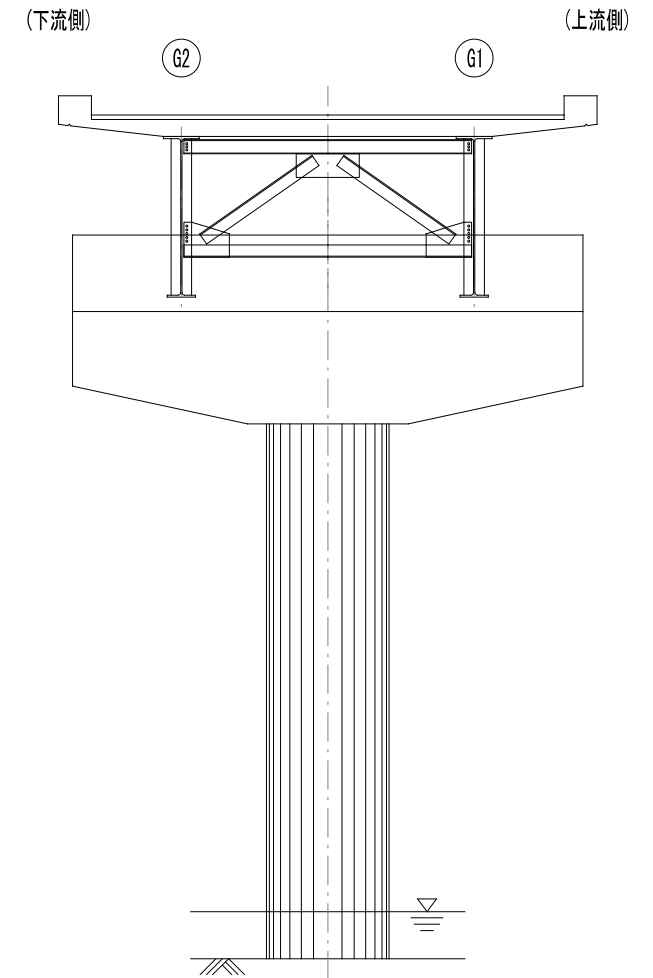
起点側正面図



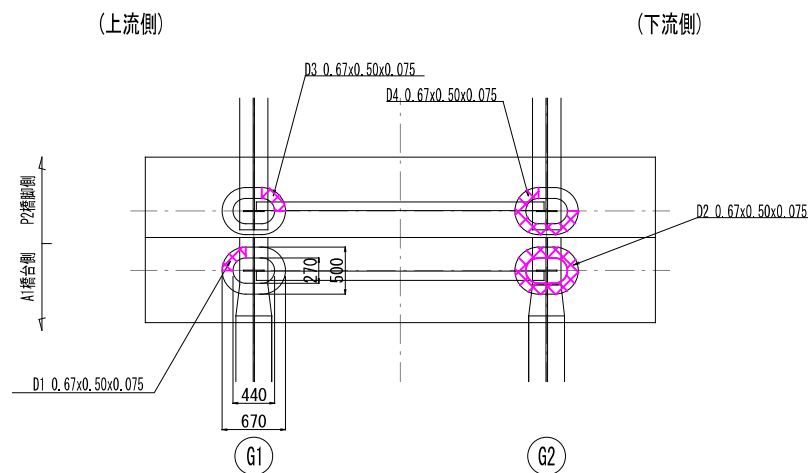
下流側側面図



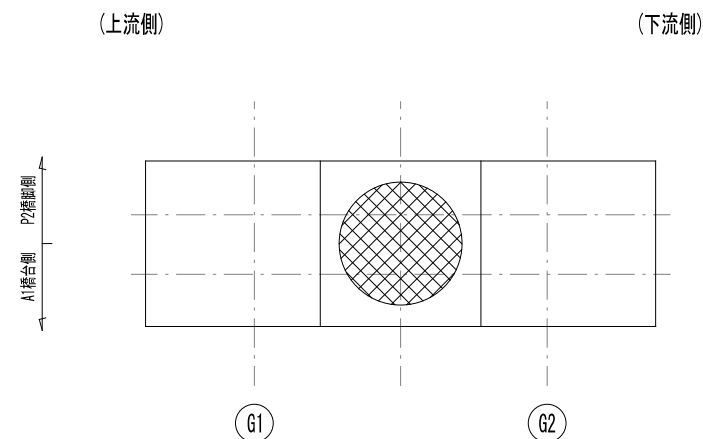
終点側正面図



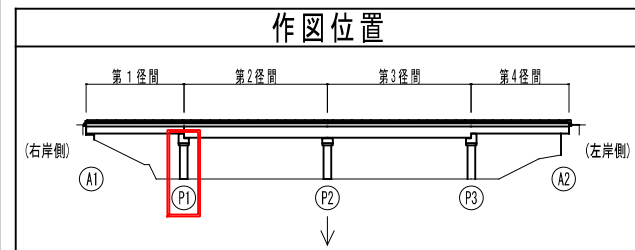
橋座平面図



梁下平面図



凡例



凡例

補修工法	
D	断面修復工(沓座モルタル)(左官工法)
D0-0.00x0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修高

- ※ 本図面は、架橋時の設計図面を元に現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	3 / 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番	3 / 12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

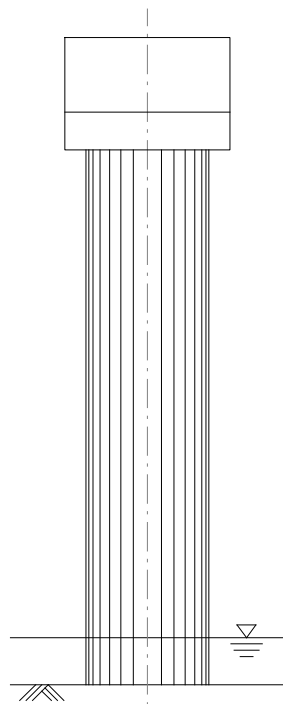
船木大橋 補修図(その3)

S=1:40

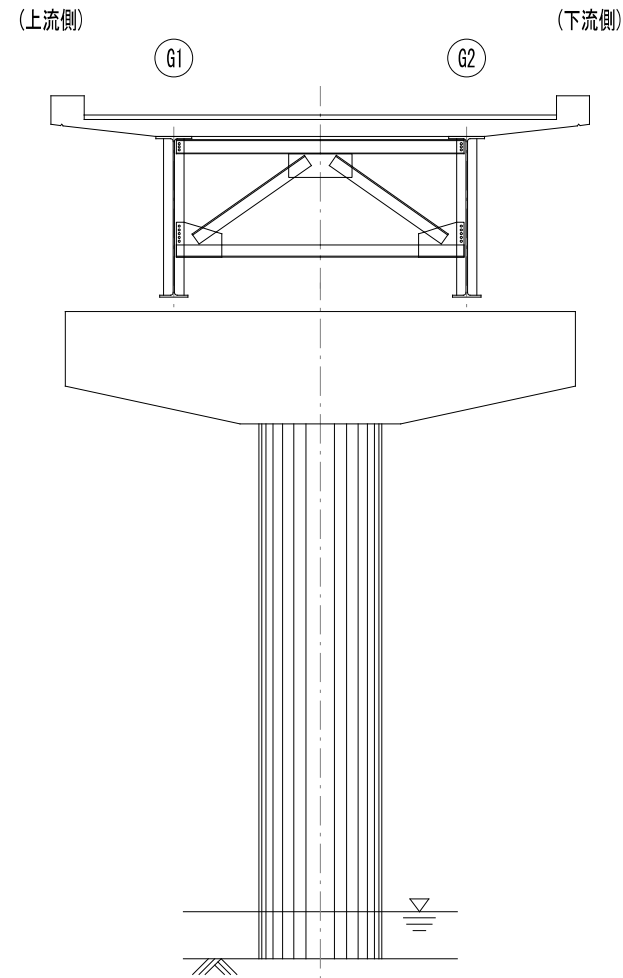
断面修復工(沓座モルタル)

P2橋脚

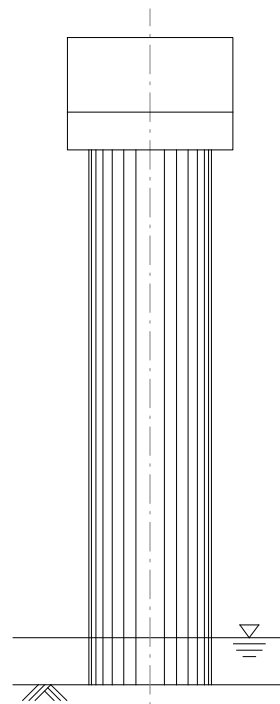
上流側側面図



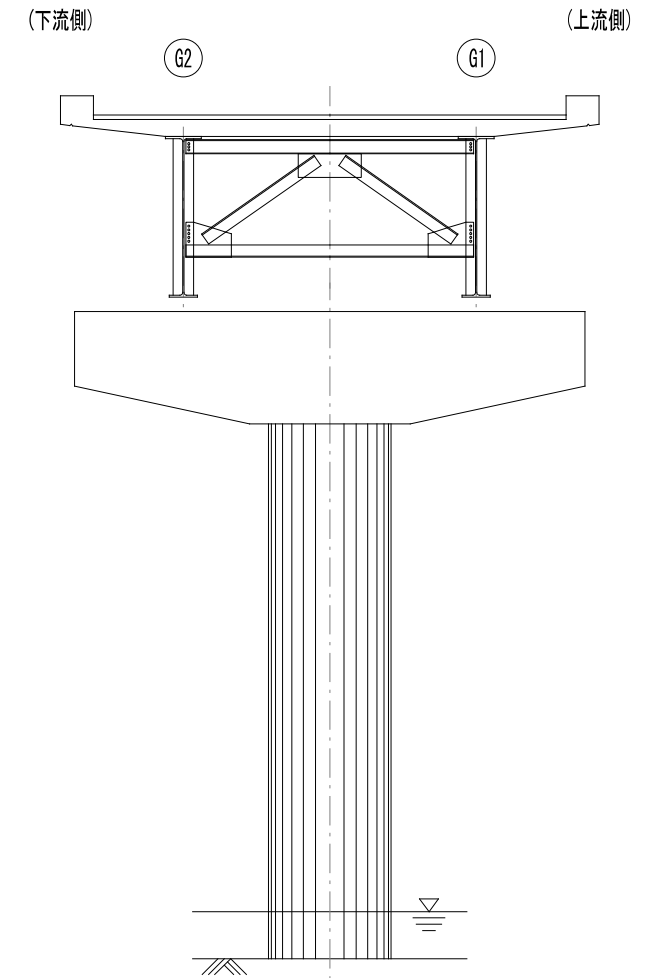
起点側正面図



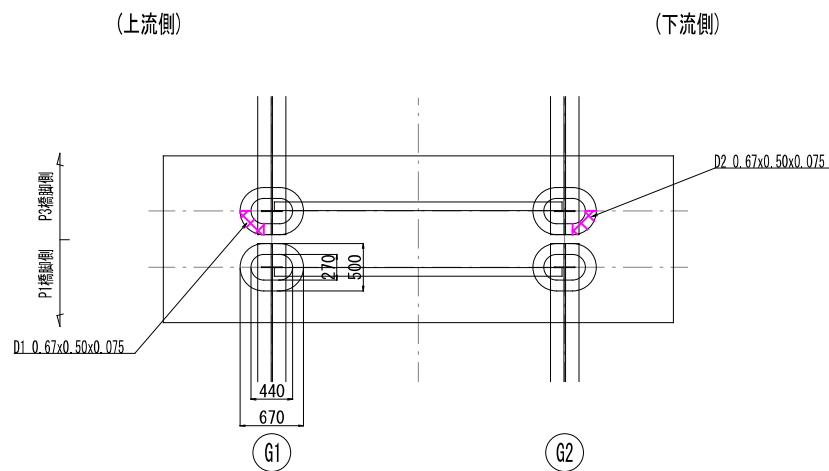
下流側側面図



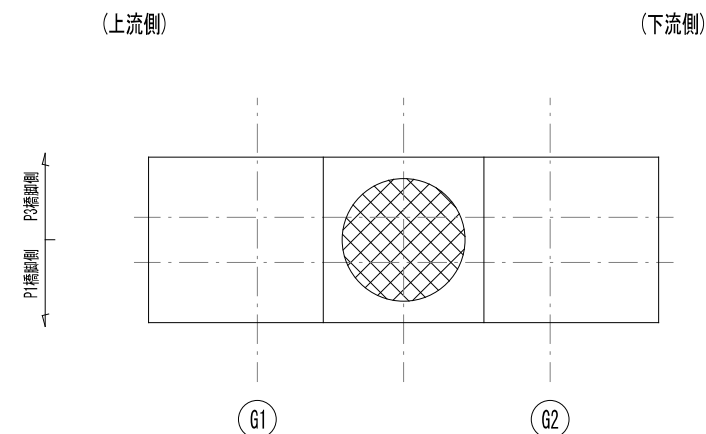
終点側正面図



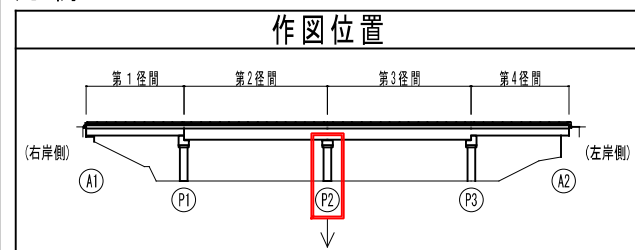
橋座平面図



梁下平面図



凡例



凡例

補修工法	
D	断面修復工(沓座モルタル)(左官工法)
-D0-0.00x0.00x0.00 -補修工法 補修番号-補修幅x補修高さ-	

- ※ 本図面は、架橋時の設計図面を元に現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	4 / 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番号	4 / 12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

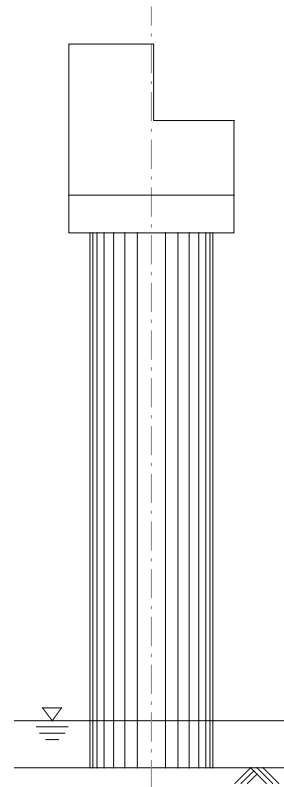
船木大橋 補修図(その4)

S=1:40

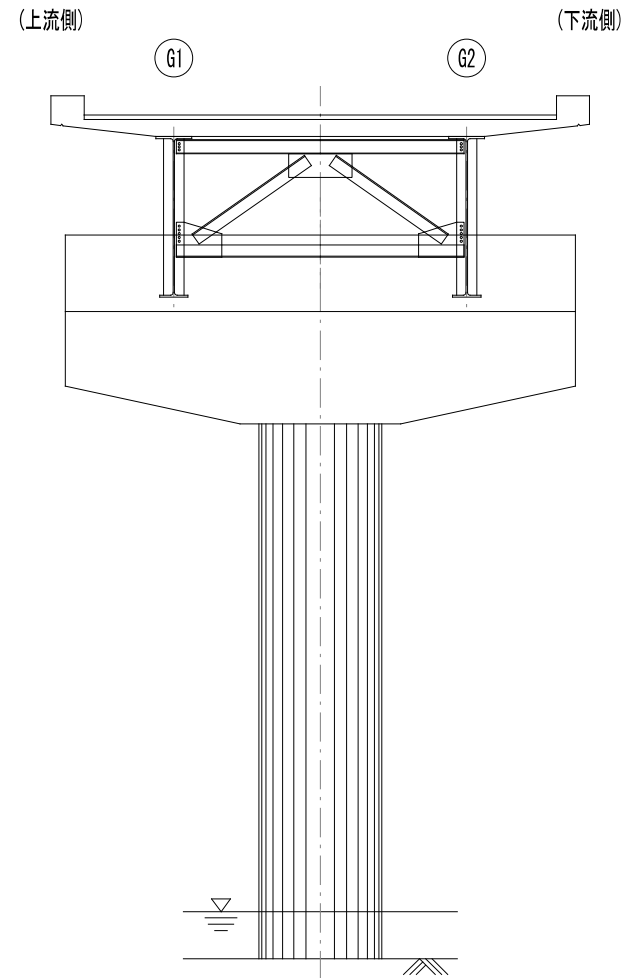
断面修復工(沓座モルタル)

P3橋脚

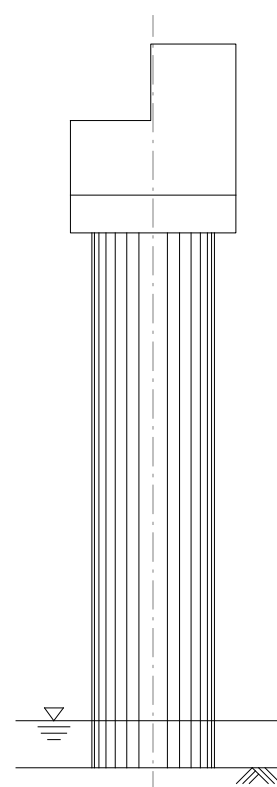
上流側側面図



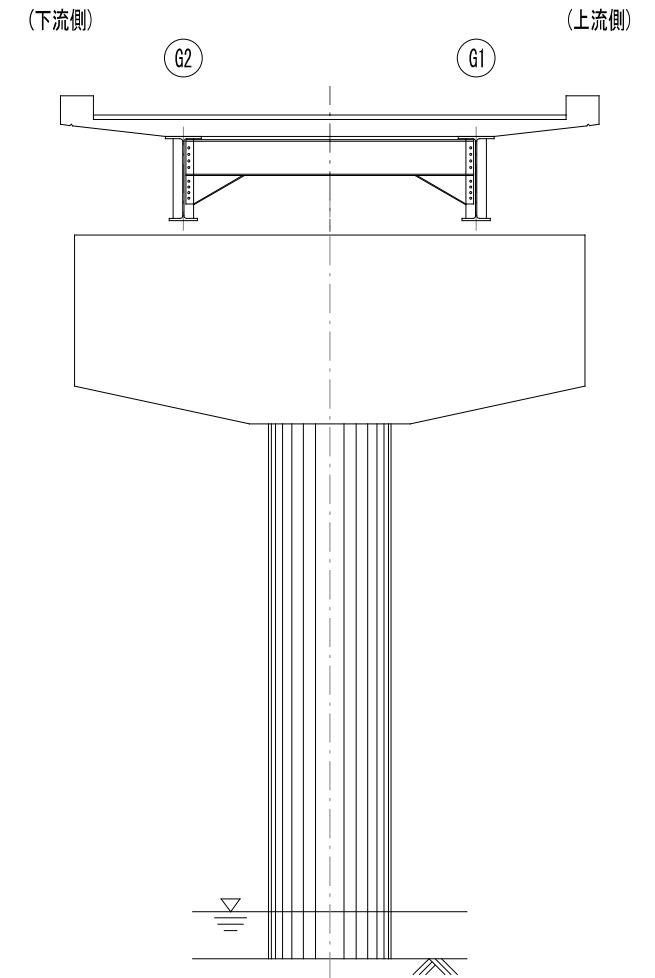
起点側正面図



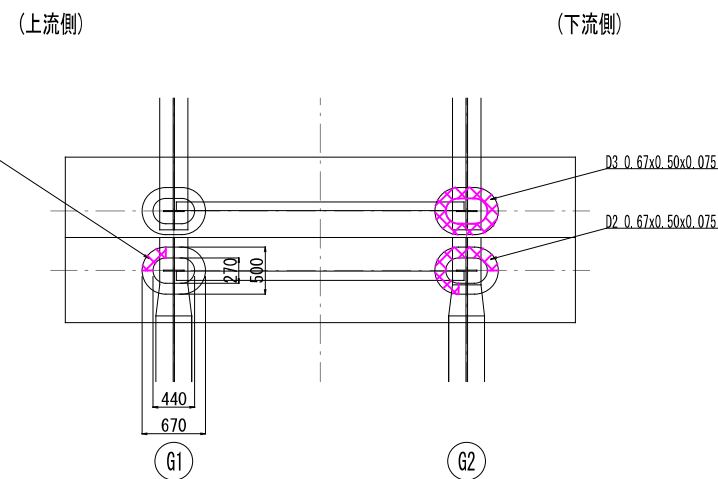
下流側側面図



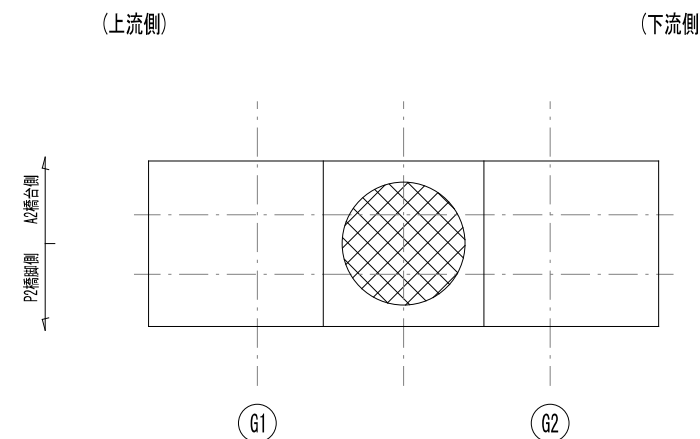
終点側正面図



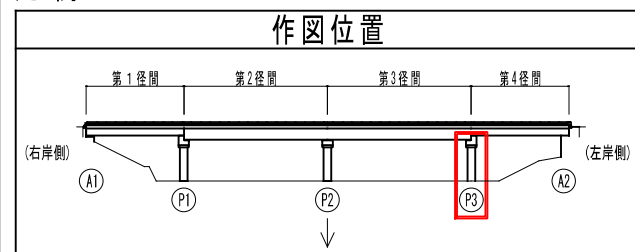
橋座平面図



梁下平面図



凡例



凡例

補修工法	
D	断面修復工(沓座モルタル)(左官工法)
-D0-0.00x0.00x0.00	-補修工法 補修番号-補修幅x補修高x補修高-

- ※ 本図面は、架橋時の設計図面を元に現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	5 / 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番	5 / 12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

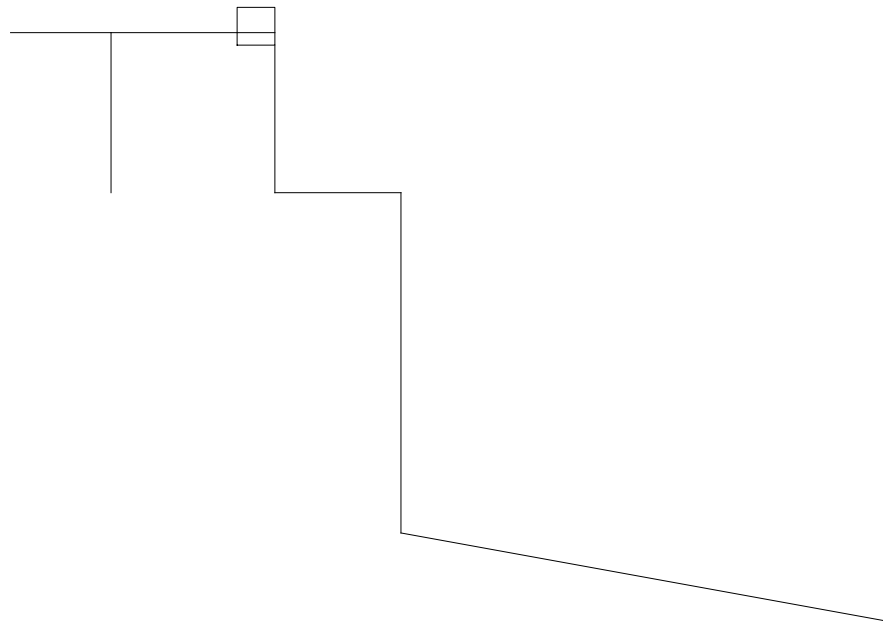
船木大橋 補修図(その5)

S=1:30

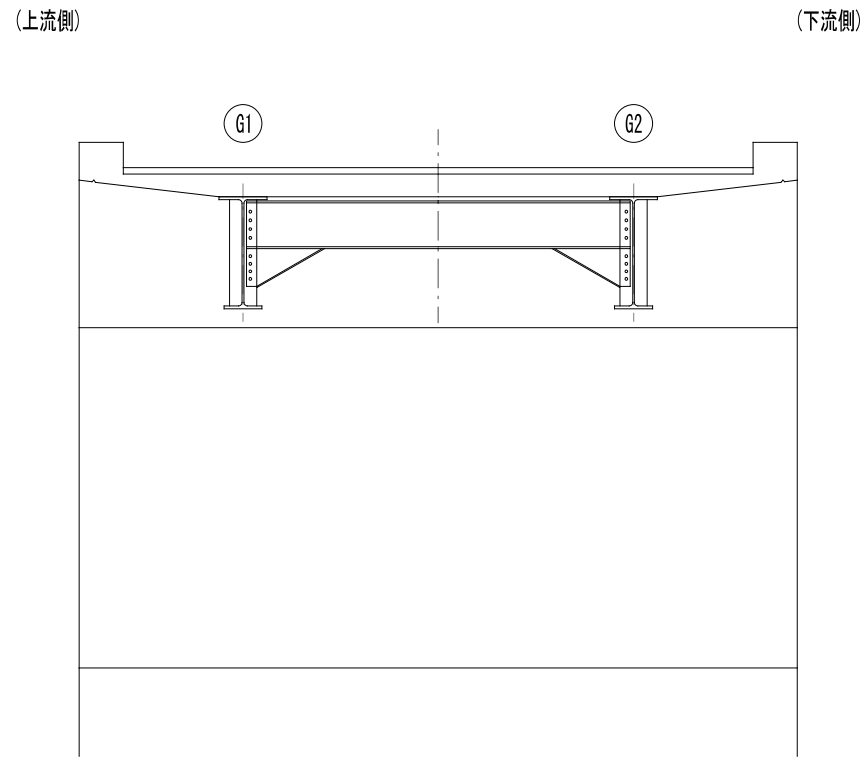
断面修復工(沓座モルタル)

A2橋台

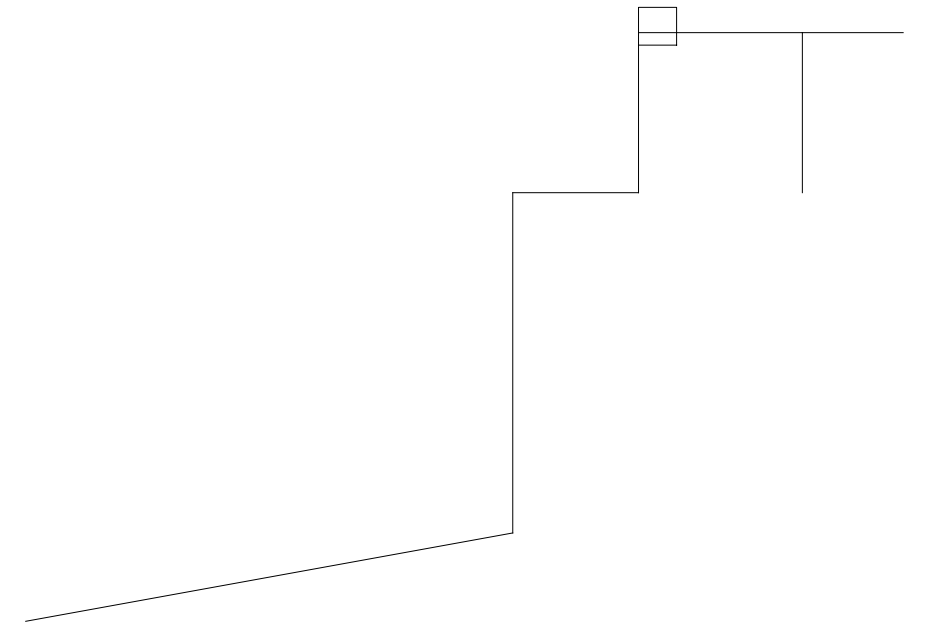
上流側側面図



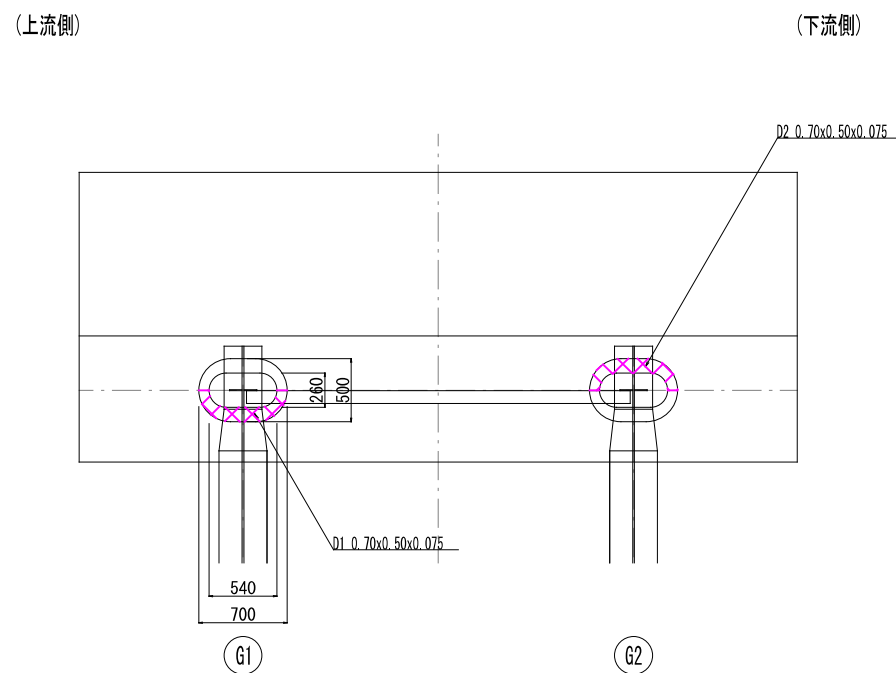
正面図



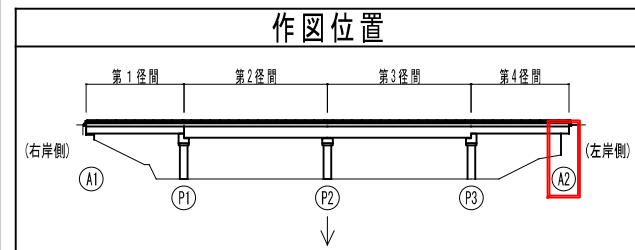
下流側側面図



橋座平面図



凡例



凡例

補修工法	
D	断面修復工(沓座モルタル)(左官工法)
D0-0.00x0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修高x補修高	

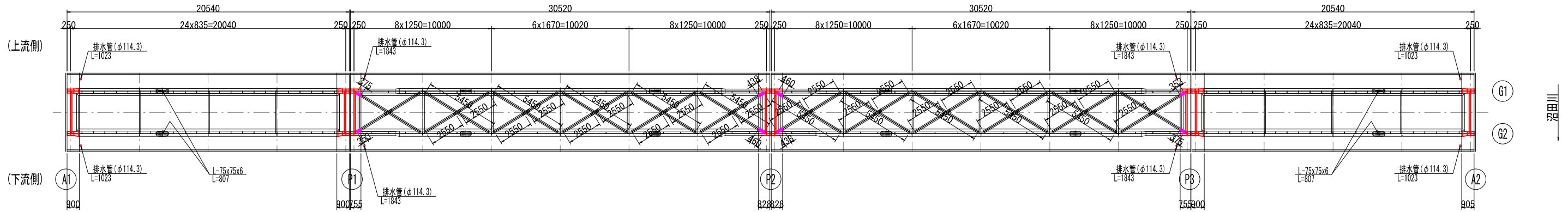
- ※ 本図面は、架橋時の設計図面を元に現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	6 / 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番	6 / 12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

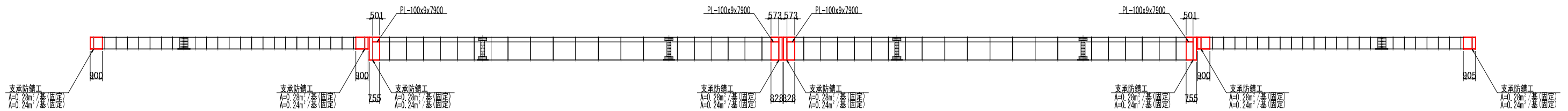
船木大橋 補修図(その6)

塗装塗替え工, 支承防錆工

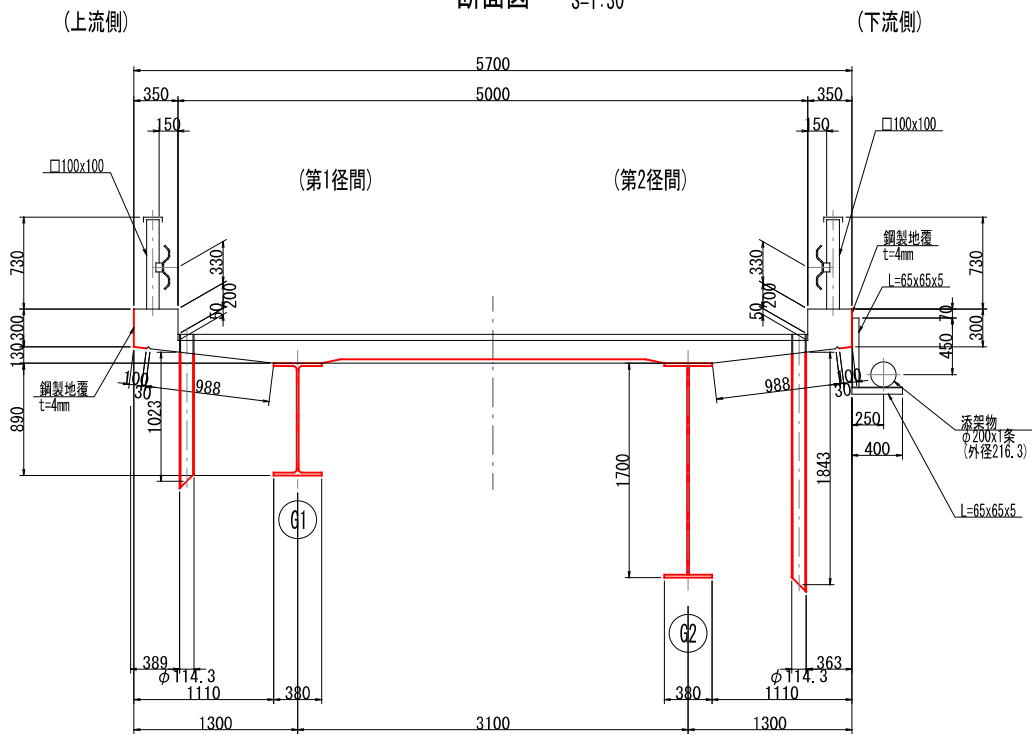
桁下平面図 S=1:150



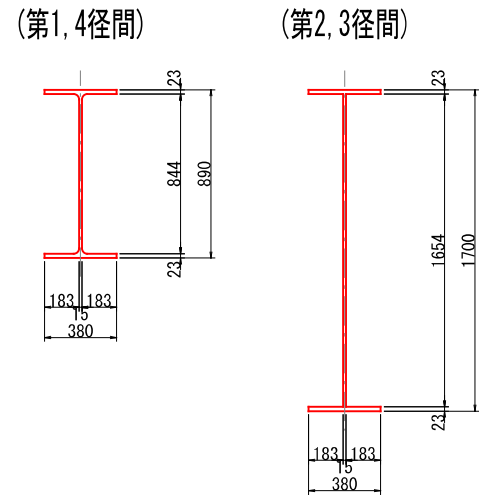
主桁側面図 S=1:150



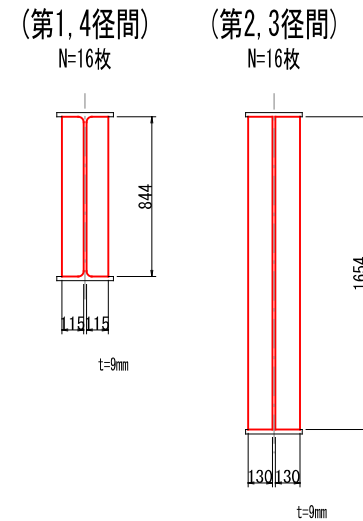
断面図 S=1:30



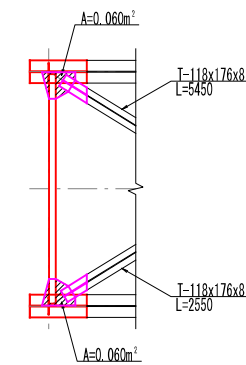
主桁詳細図 S=1:20



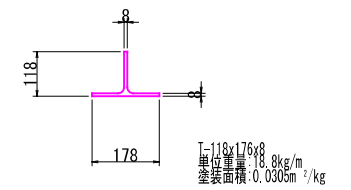
補剛材詳細図 S=1:20



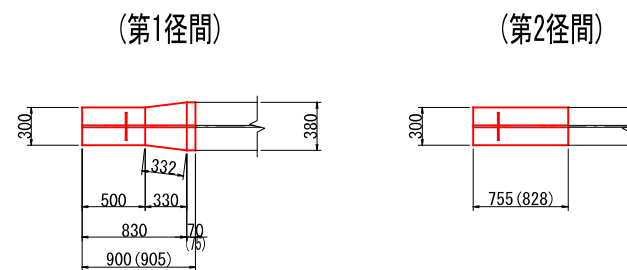
A部詳細図 S=1:50



下横構詳細図 S=1:10



主桁下フランジ端部 S=1:30



※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
 ※ 形状・寸法については、施工時に再度確認を行うこと。
 ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。

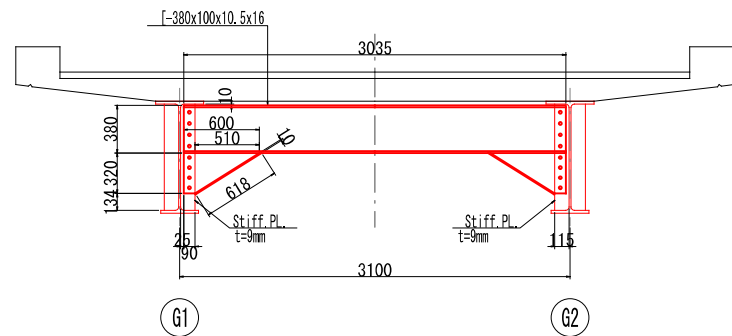
図面番号	7 / 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋 補修図(その6) 塗装塗替え工, 支承防錆工	番 号	7 / 12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

船木大橋 補修図(その7)

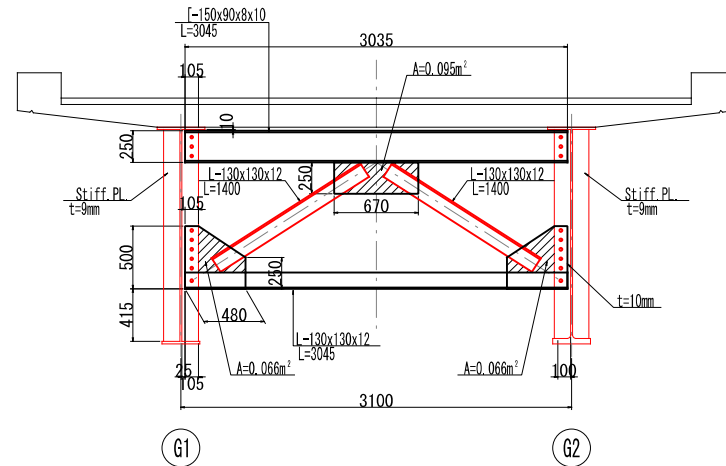
S=1:30

塗装塗替え工, 支承防錆工

第1径間
端部横桁

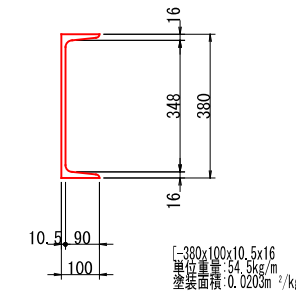


第2径間
端部対傾構

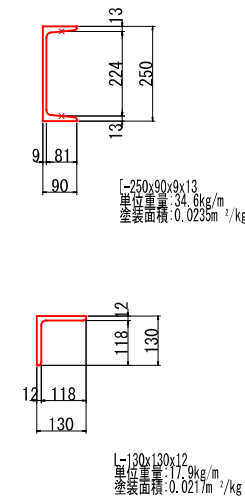


横桁詳細図 S=1:10

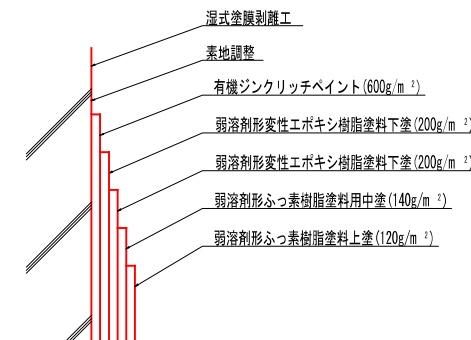
(第1径間)



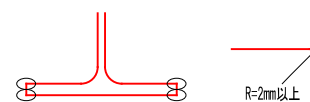
(第2径間)



塗装塗替え工, 支承防錆工 (参考図)



角部 曲面仕上げ 参考図



※ 部材の角部は膜厚の確保がしにくい箇所であるため、半径2R以上の曲面仕上げを行い、一般部と同等の塗膜性能を得ること。
(出典：鋼道路橋防食便覧 平成26年3月 II-48 より)

塗装仕様：Rc-II塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2 種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	200	1日~10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日~10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

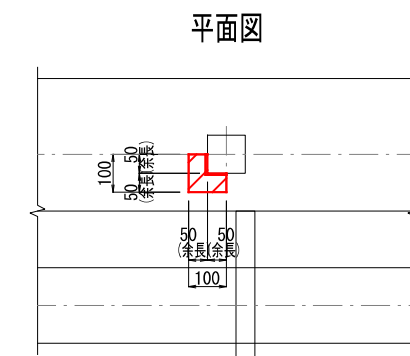
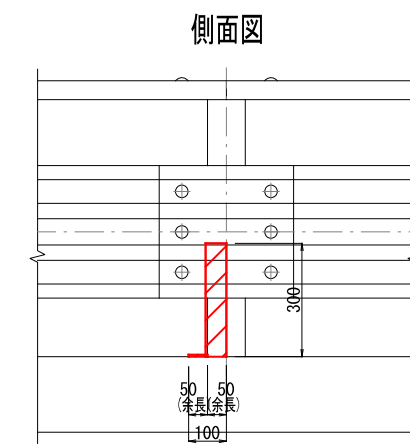
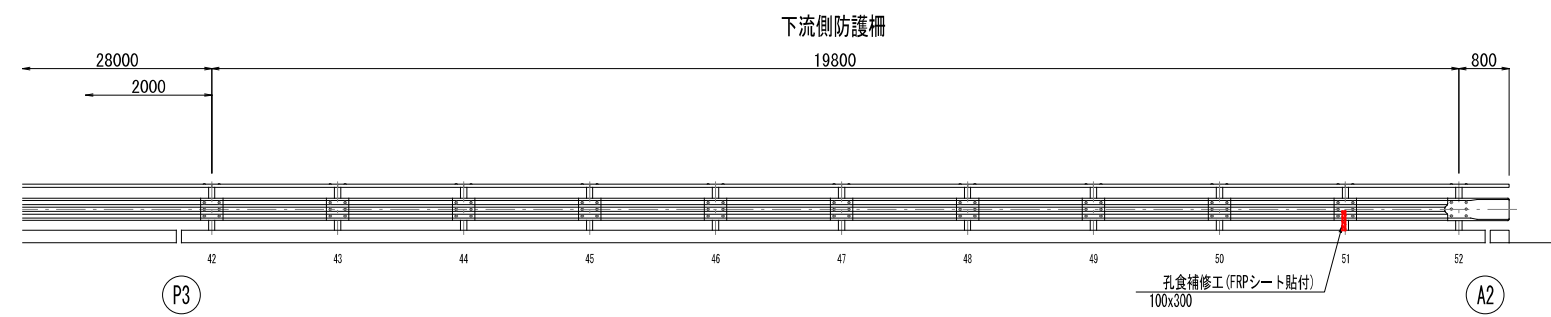
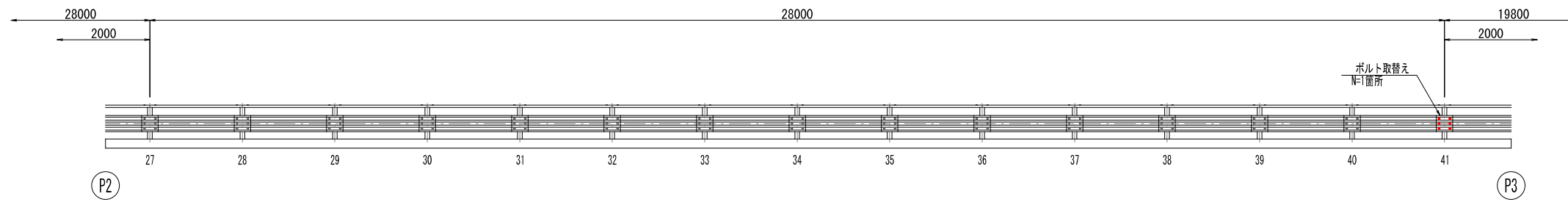
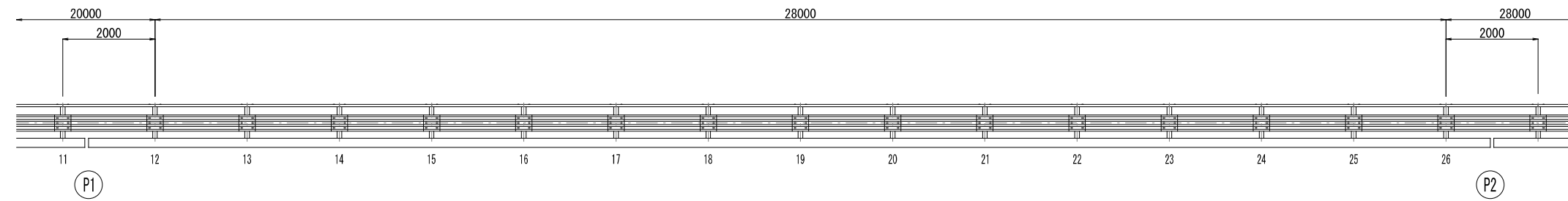
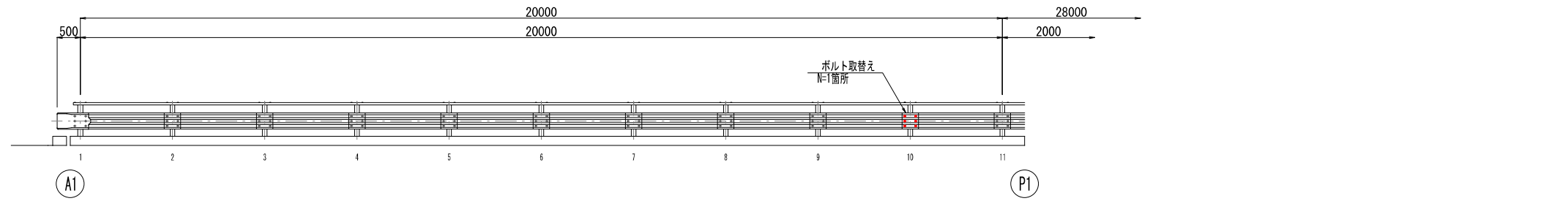
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
※ 形状・寸法については、施工時に再度確認を行うこと。
※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。

図面番号	縮尺	図示
8/18		
工 種	橋梁補修工事 (市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)	
種 別	船木大橋 補修図(その7) 塗装塗替え工, 支承防錆工	番 号 8/12
路 線 名	市道本郷町中筋横断線	
工事箇所	三原市本郷町船木	
三 原 市		

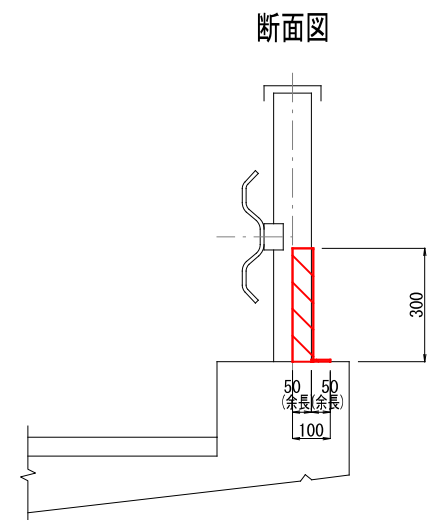
船木大橋 補修図(その8)

S=1:60

高欄孔食補修工(下流側)



FRPシート貼付詳細図



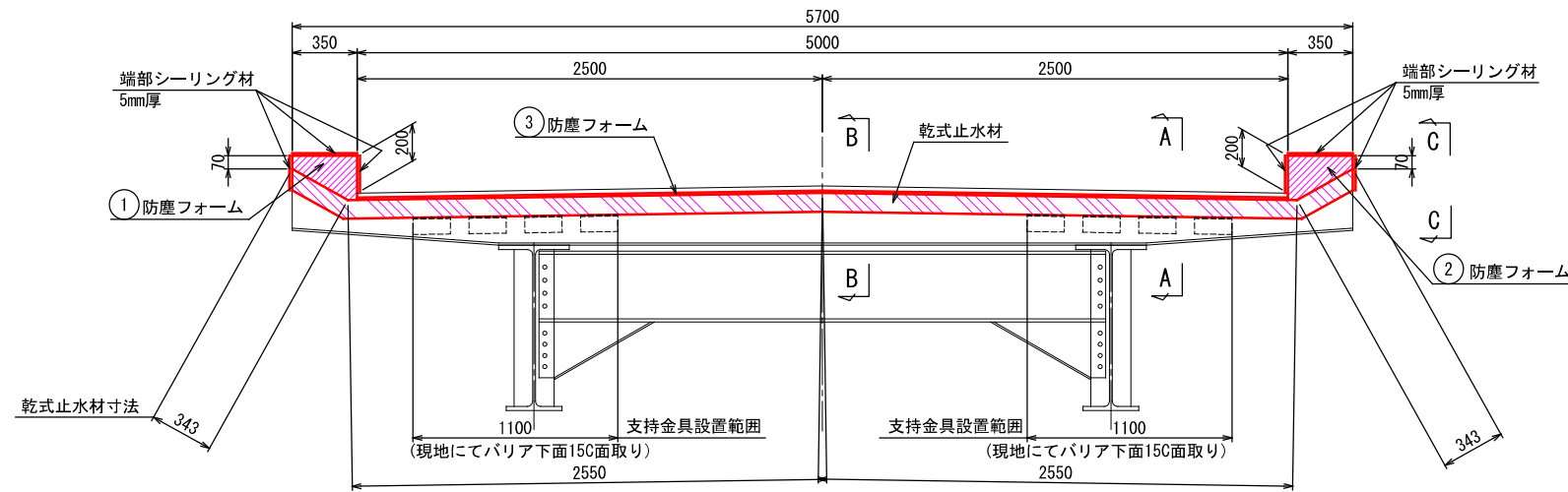
※ 形状・寸法については、施工時に再度確認を行うこと。
 ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。

図面番号	9 / 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋 補修図(その8) 高欄孔食補修工(下流側)	番 号	9 / 12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

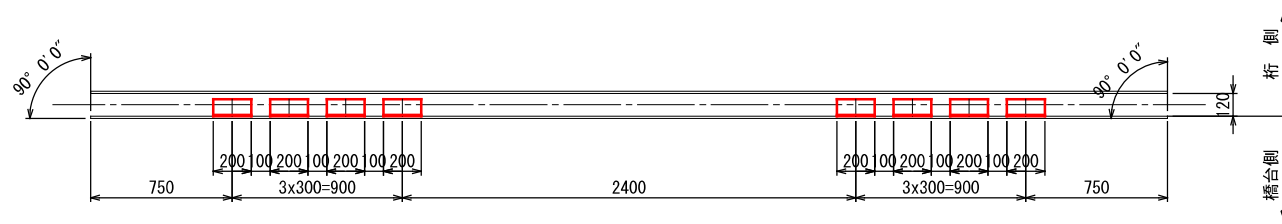
伸縮装置補修 非排水化工 (その1) S=1:20

(A1) (A2)

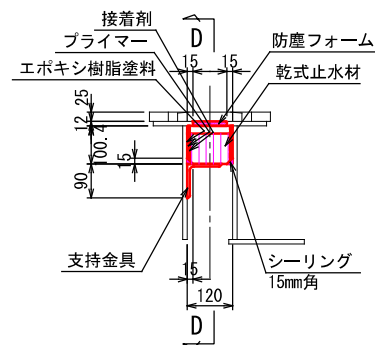
横断面図



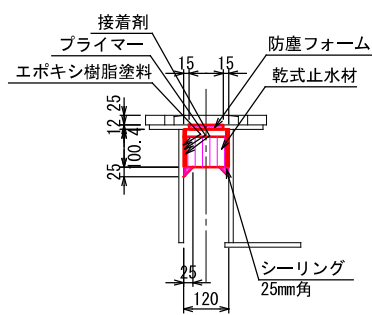
平面図



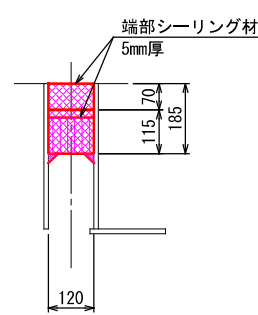
A-A矢視図 S=1:10



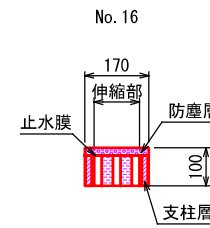
B-B矢視図 S=1:10



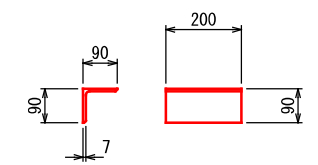
C-C矢視図 S=1:10



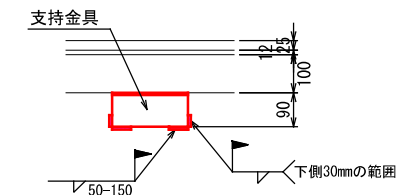
乾式止水材 S=1:10



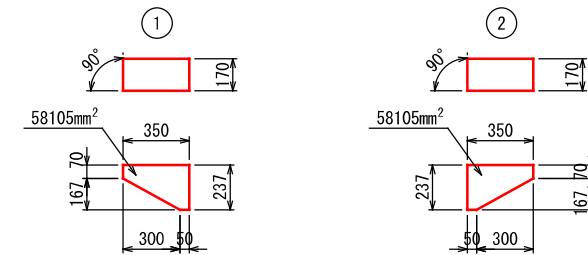
支持金具詳細図 S=1:10



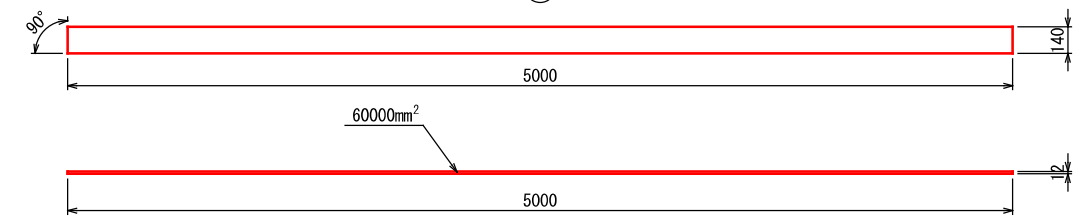
D-D矢視図 S=1:10



防塵フォーム詳細図



③



注記

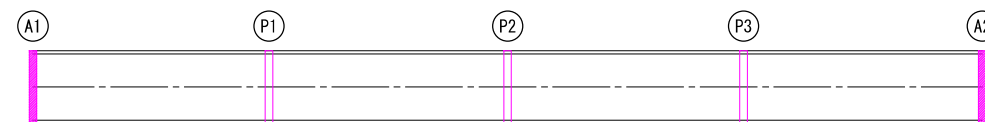
1. 現地調査を行い、図面寸法と照合を行うこと。
2. 調査時には施工可否を含め確認すること。
3. 上記調査結果より、必要な場合は設計変更すること。

数量表

【乾式止水材バリアレックス相当】

品名	仕様	単位	A1	A2	備考
乾式止水材バリアレックス-M	No. 16	m	5.786	5.786	
防塵フォームPE	ポリエチレンフォーム	L	28.156	28.156	
エポキシ樹脂塗料	エポキシ系	kg	0.508	0.508	
プライマー(AQ-1)	シリコン系	kg	0.085	0.085	
接着剤(KE-45-TSブラック)	シリコン系	kg	1.303	1.303	
シーリング材CF5044	シリコン系	L	2.736	2.736	
端部シーリング材マスター300LS	シリコン系	L	0.882	0.882	
支持金具	L90x90x7x200, SS400	ヶ	8	8	溶融亜鉛メッキ

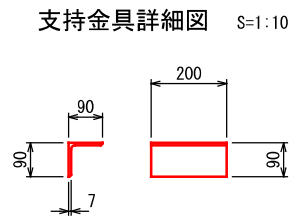
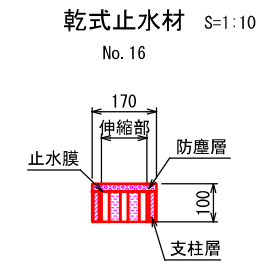
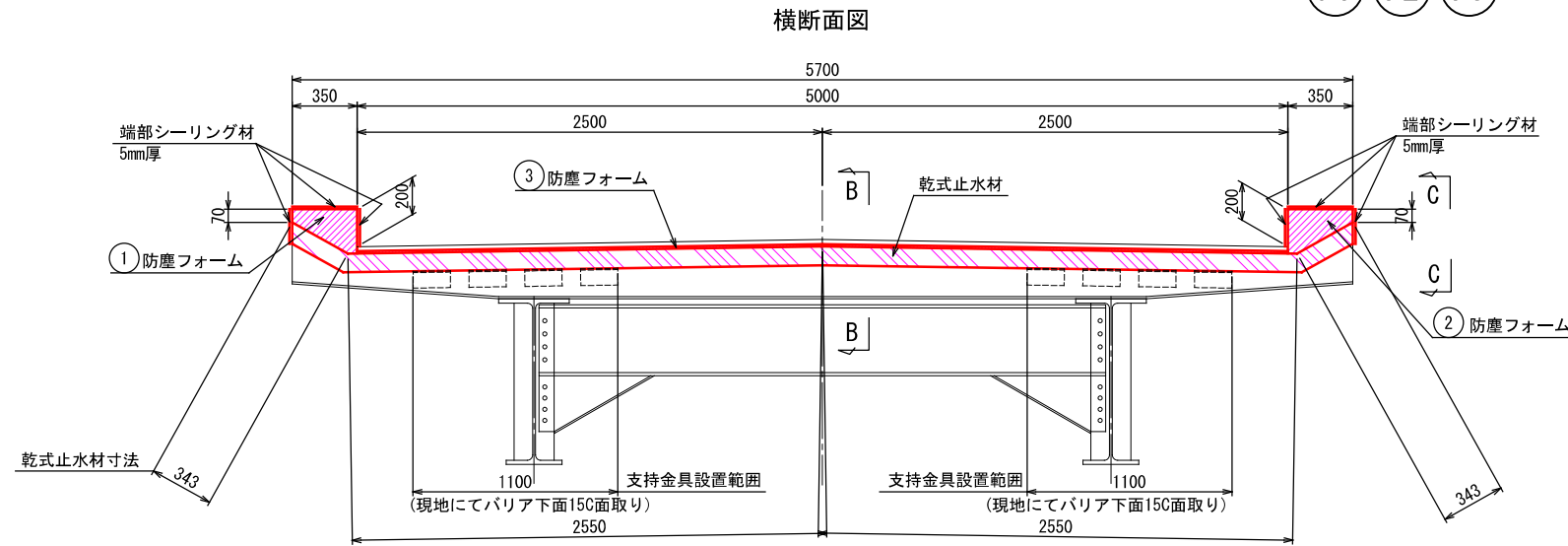
配置図



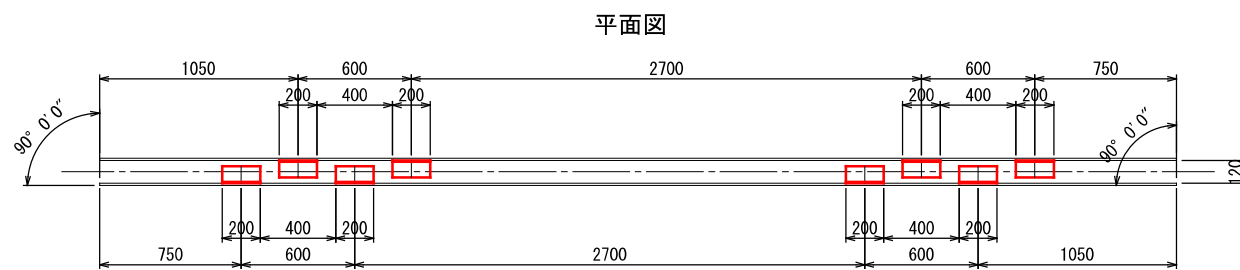
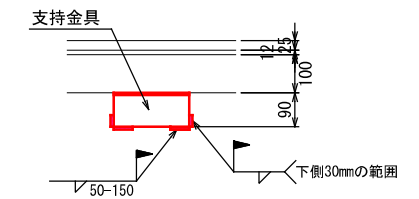
図面番号	10/18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番号	10/12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

伸縮装置補修 非排水化工 (その2) S=1:20

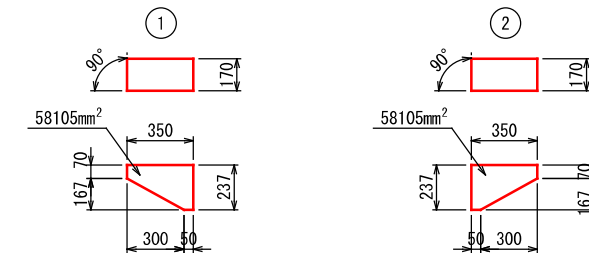
(P1) (P2) (P3)



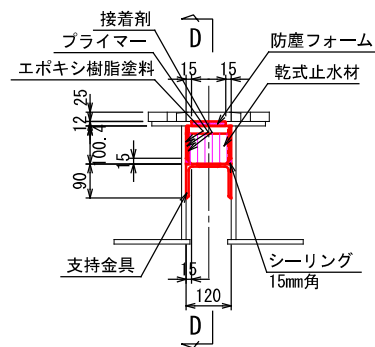
D-D矢視図 S=1:10



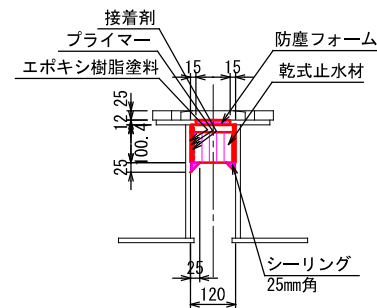
防塵フォーム詳細図



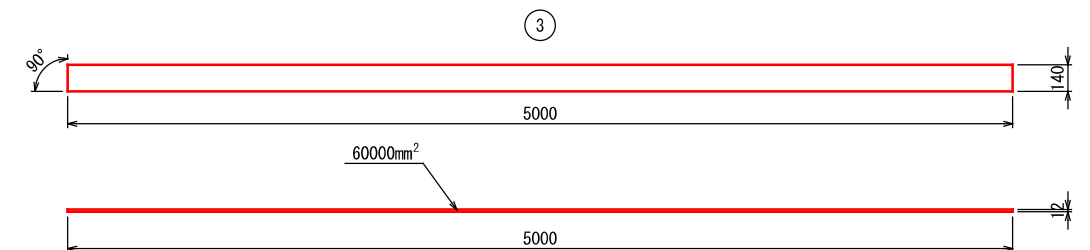
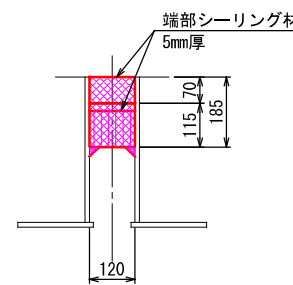
A-A矢視図 S=1:10



B-B矢視図 S=1:10



C-C矢視図 S=1:10



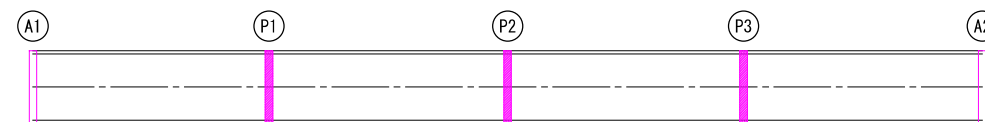
注記

1. 現地調査を行い、図面寸法と照合を行うこと。
2. 調査時には施工可否を含め確認すること。
3. 上記調査結果より、必要な場合は設計変更すること。

数量表 【乾式止水材バリアレックス相当】

品名	仕様	単位	P1	P2	P3	備考
乾式止水材バリアレックス-M	No. 16	m	5.786	5.786	5.786	
防塵フォームPE	ポリエチレンフォーム	L	28.156	28.156	28.156	
エポキシ樹脂塗料	エポキシ系	kg	0.508	0.508	0.508	
プライマー(AQ-1)	シリコン系	kg	0.085	0.085	0.085	
接着剤(KE-45-TSブラック)	シリコン系	kg	1.303	1.303	1.303	
シーリング材CF5044	シリコン系	L	2.736	2.736	2.736	
端部シーリング材マスター300LS	シリコン系	L	0.882	0.882	0.882	
支持金具	L90x90x7x200, SS400	ヶ	8	8	8	溶融亜鉛メッキ

配置図



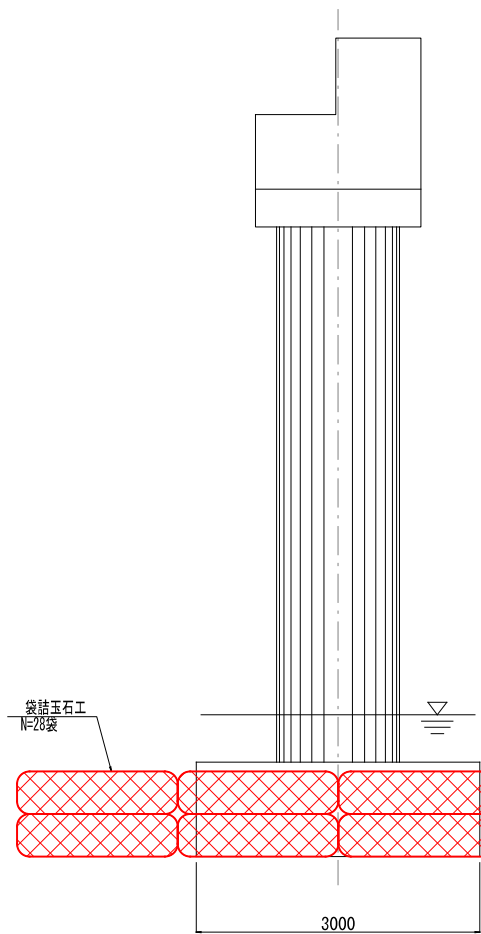
図面番号	11/18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番号	11/12
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

船木大橋 洗掘対策工詳細図

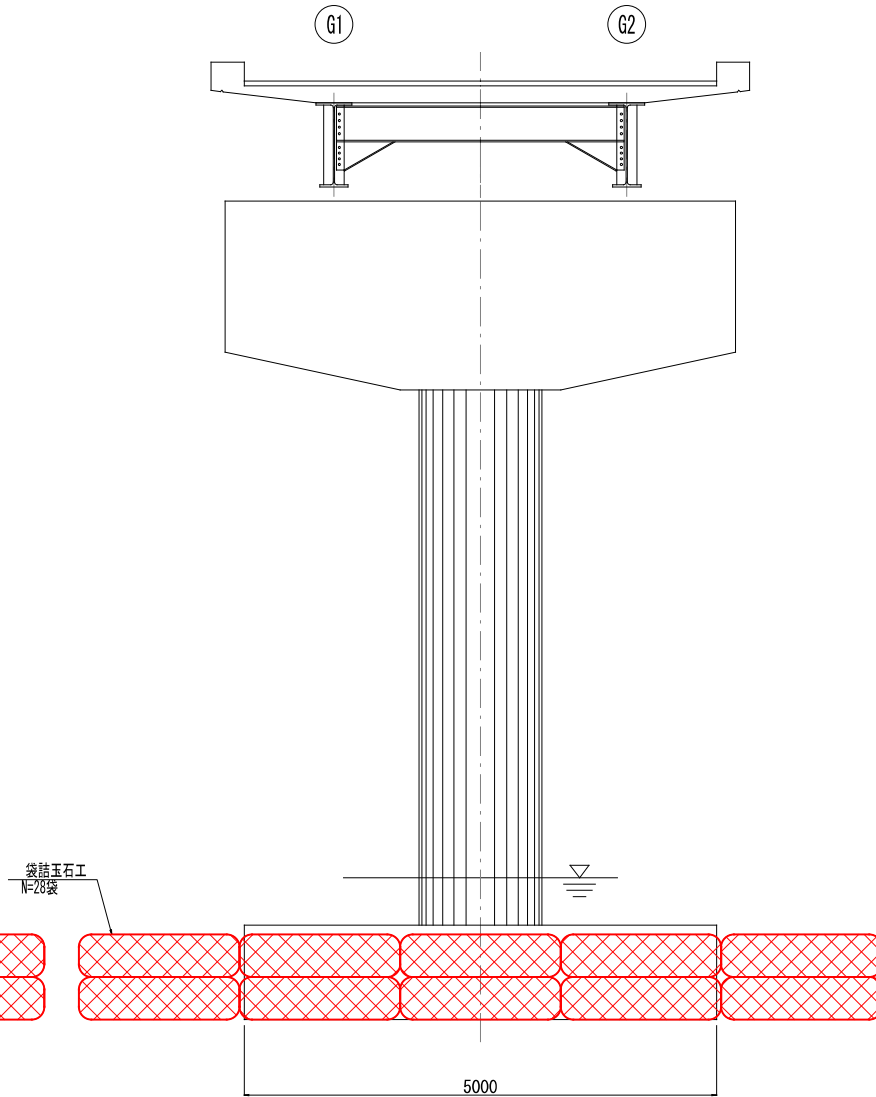
S=1:40

P1橋脚

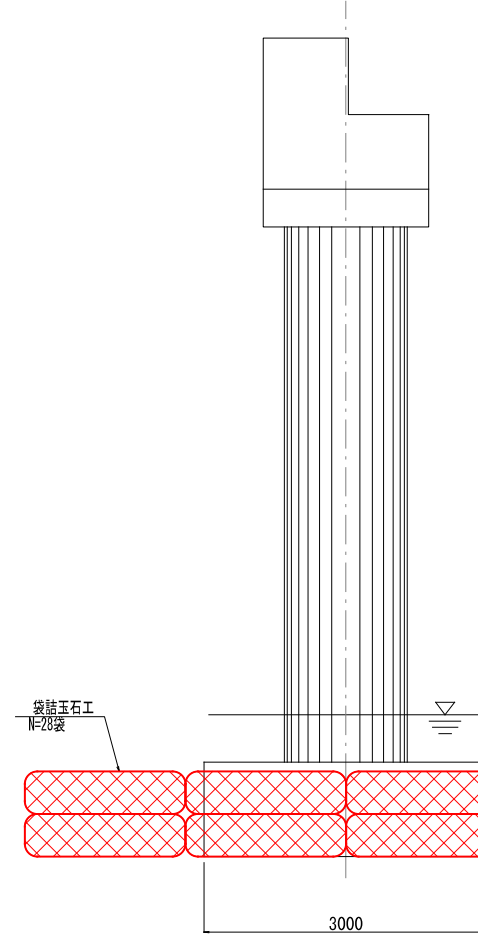
上流側側面図



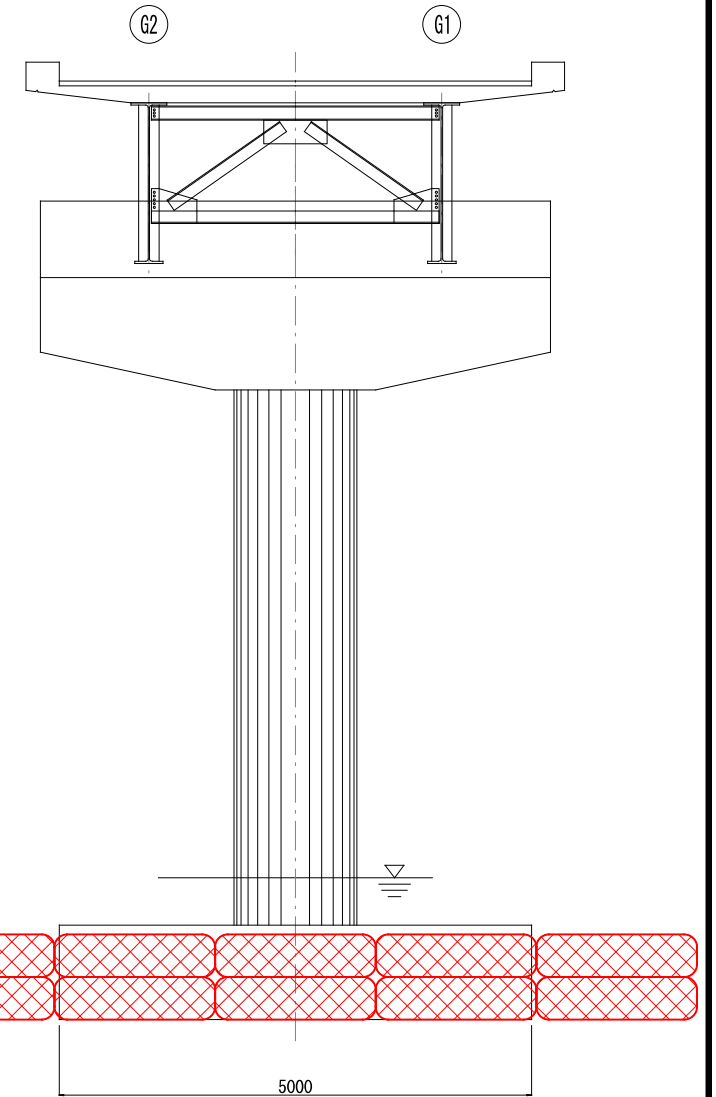
起点側正面図 (上流側) (下流側)



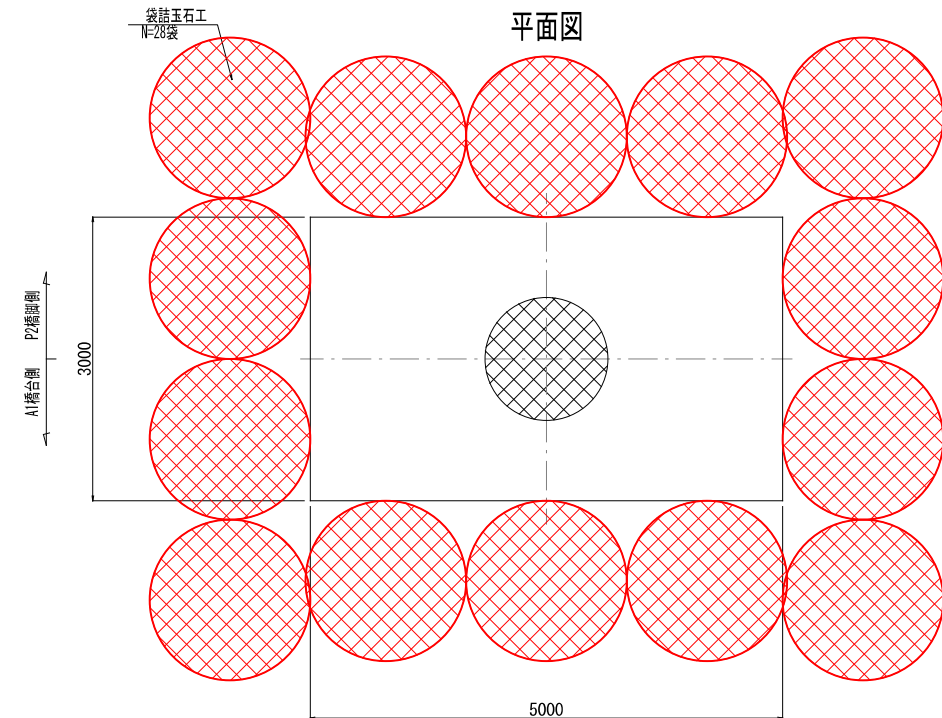
下流側側面図



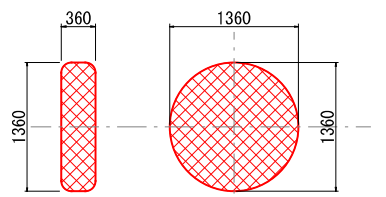
終点側正面図 (下流側) (上流側)



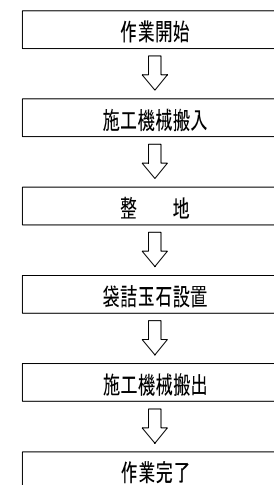
平面図



袋詰玉石工 W=1t

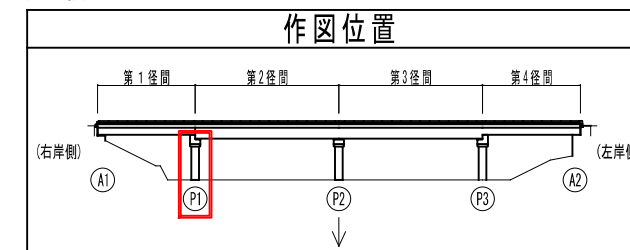


施工手順 (袋詰玉石工)



- ※ 地形線は推定による。
- ※ フーチング形状・寸法については、施工時に再度確認を行うこと。
- ※ 施工時期については、濁水期に施工を行うこと。
- ※ 資機材の搬入・搬出は左岸側より行い、必要に応じ橋面部の通行止め規制を行う。
- ※ 施工時は分割施工とし、各期施工完了後、順次次期施工を行う。

凡例

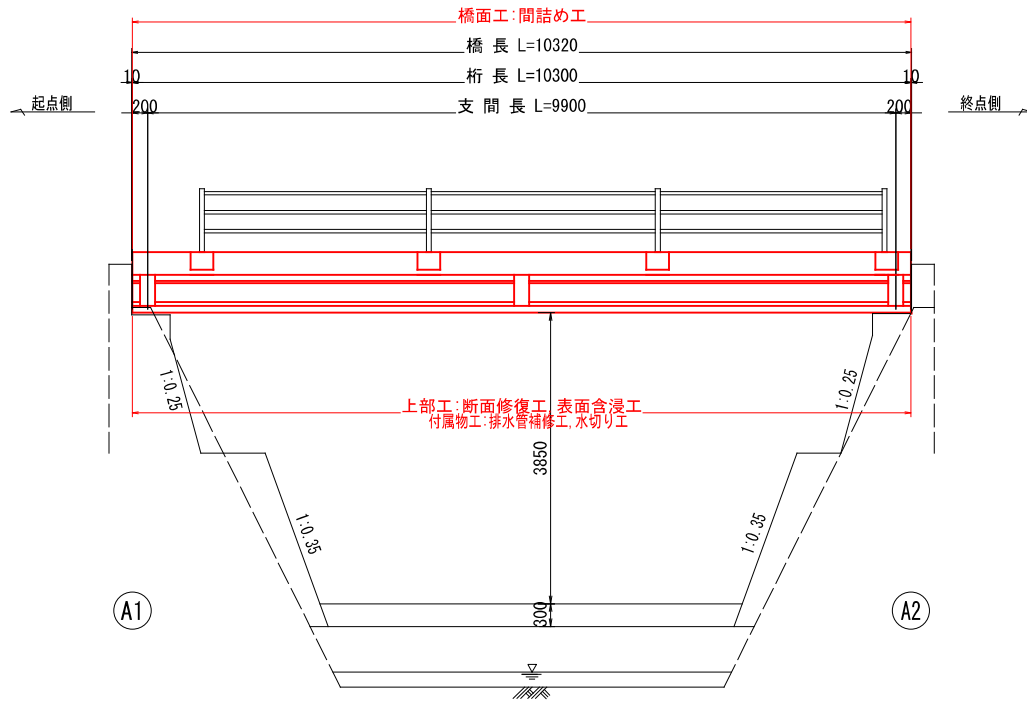


図面番号	12/18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋	番	12
路線名	市道本郷町中筋横断線	号	12
工事箇所	三原市本郷町船木		

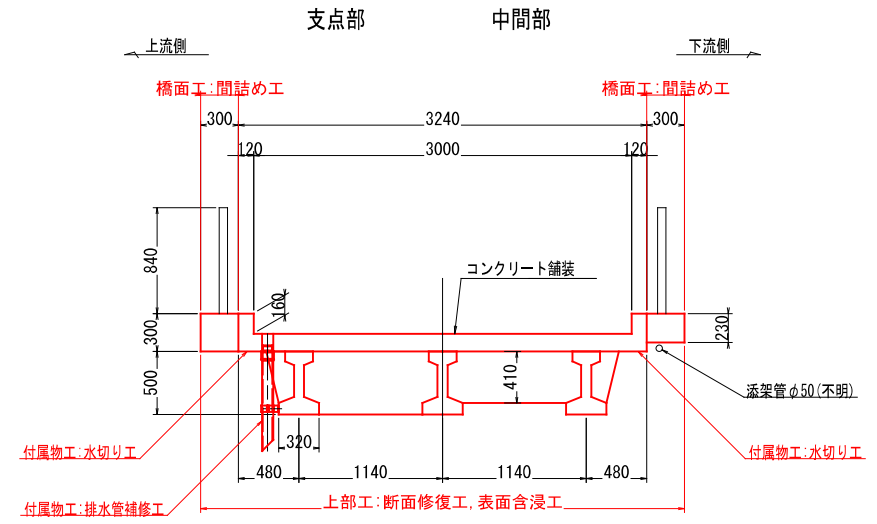
三原市

石井谷1号橋 補修計画一般図

側面図 S=1:50



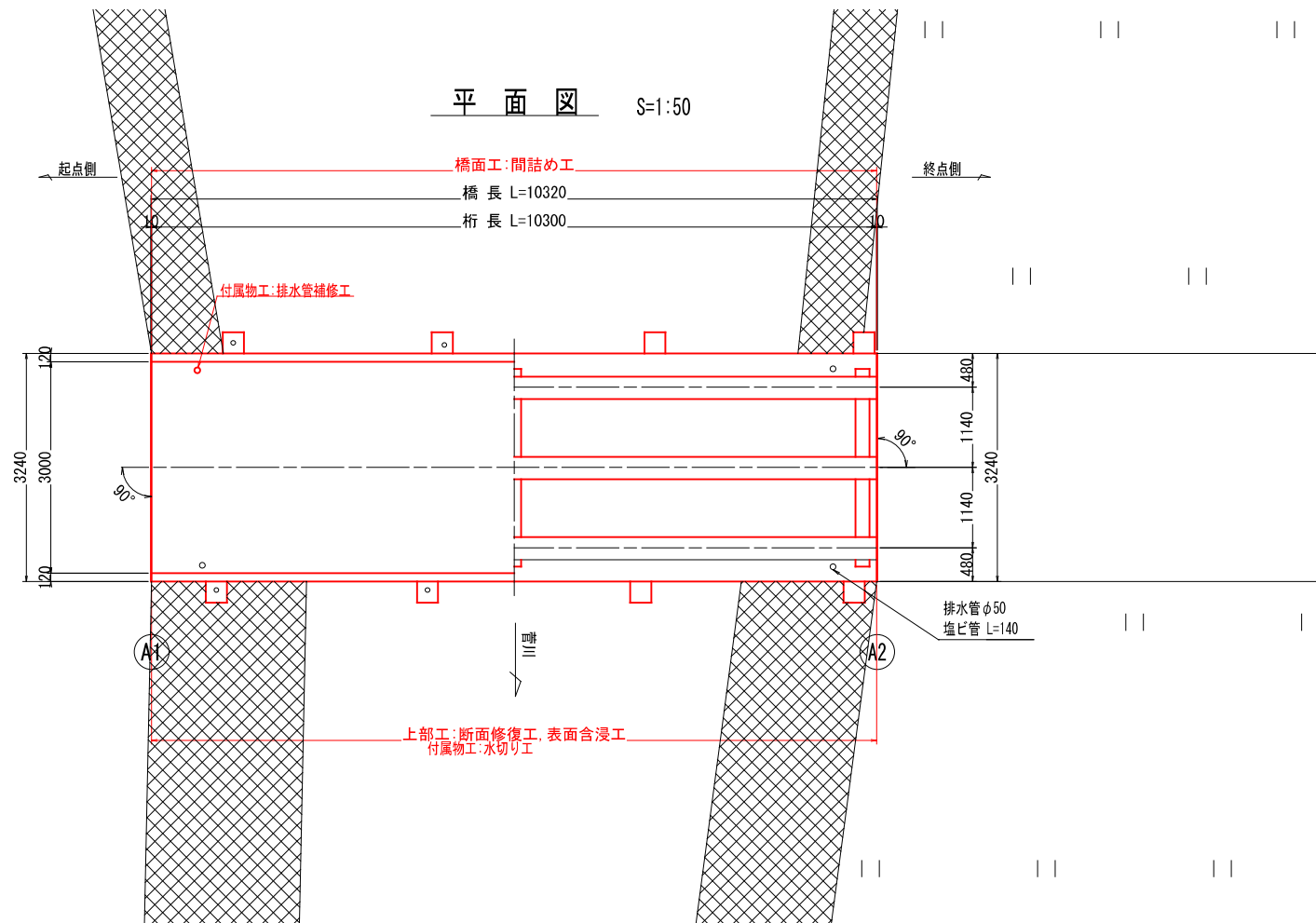
断面図 S=1:30



対策工法一覧表

- 間詰め工
- 排水管補修工
- 断面修復工
- 表面含浸工
- 水切り工
- 仮設足場工
- 吊足場

平面図 S=1:50

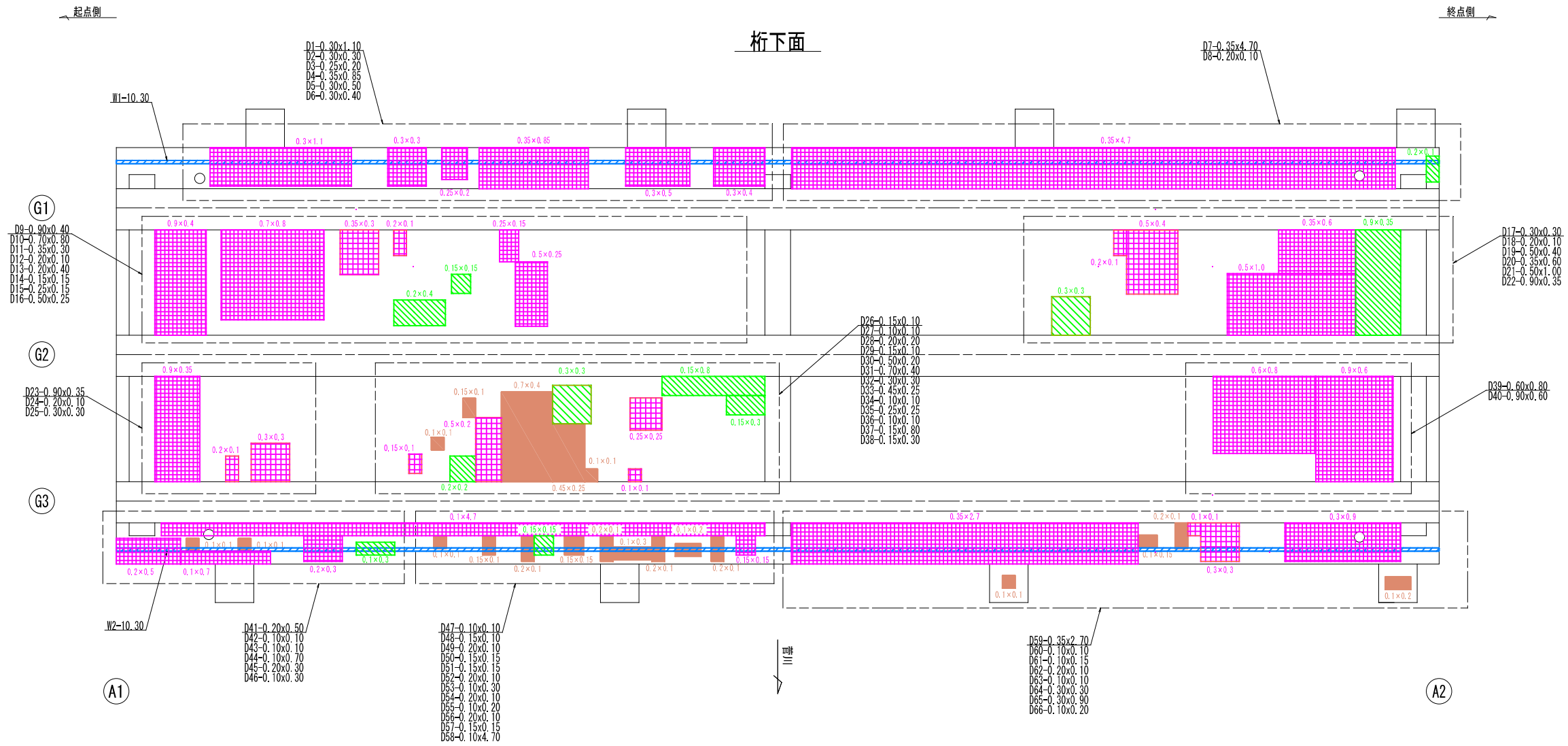


※一般図は、現地計測結果を基に作成したものである。

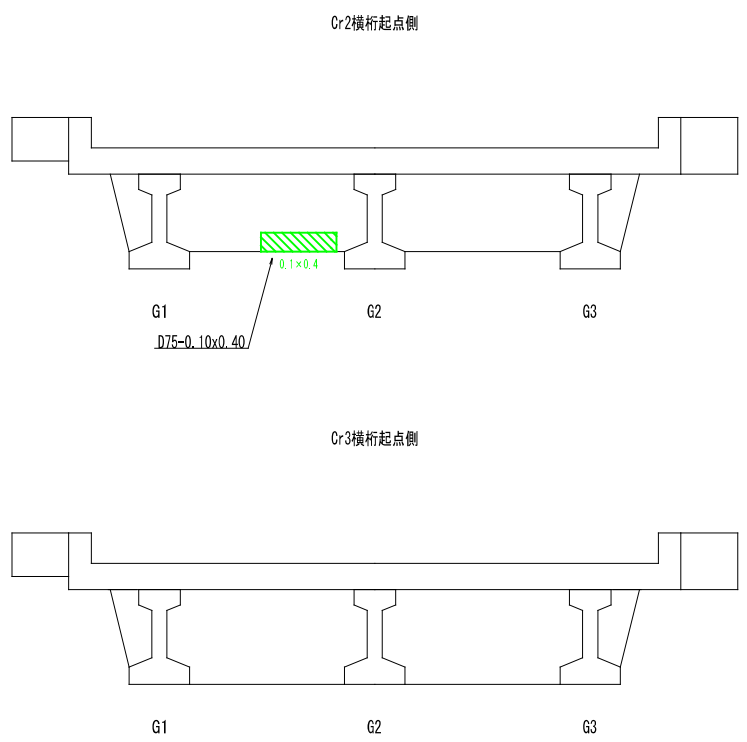
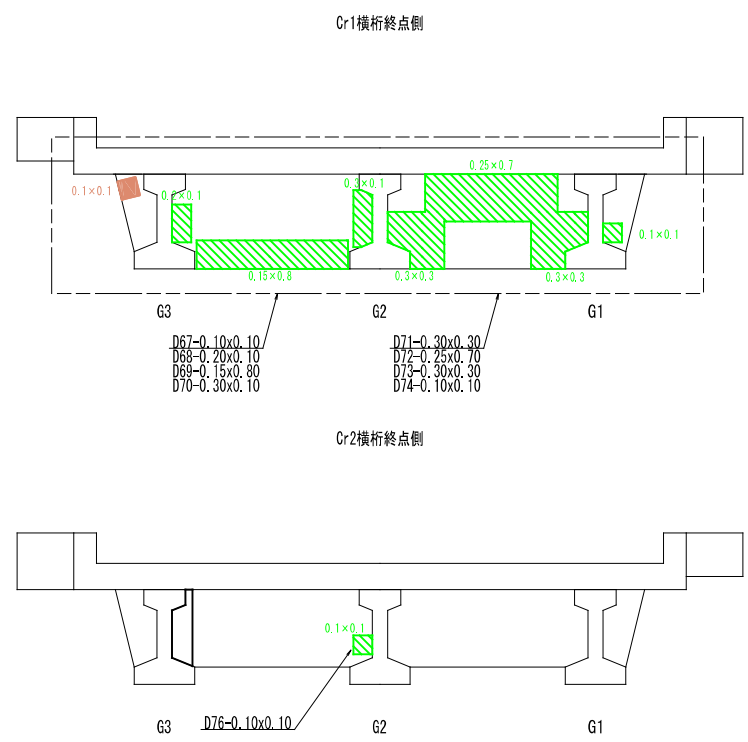
図面番号	13 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	石井谷1号橋 補修計画一般図	番 号	1 6
路線名	市道本郷町石井谷線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

石井谷1号橋 補修図(その1)

S=1:20



横桁



凡例

補修工法	
	断面修復工(左官工法)
	水切り工
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修長
W0-0.00	補修工法 補修番号-補修延長

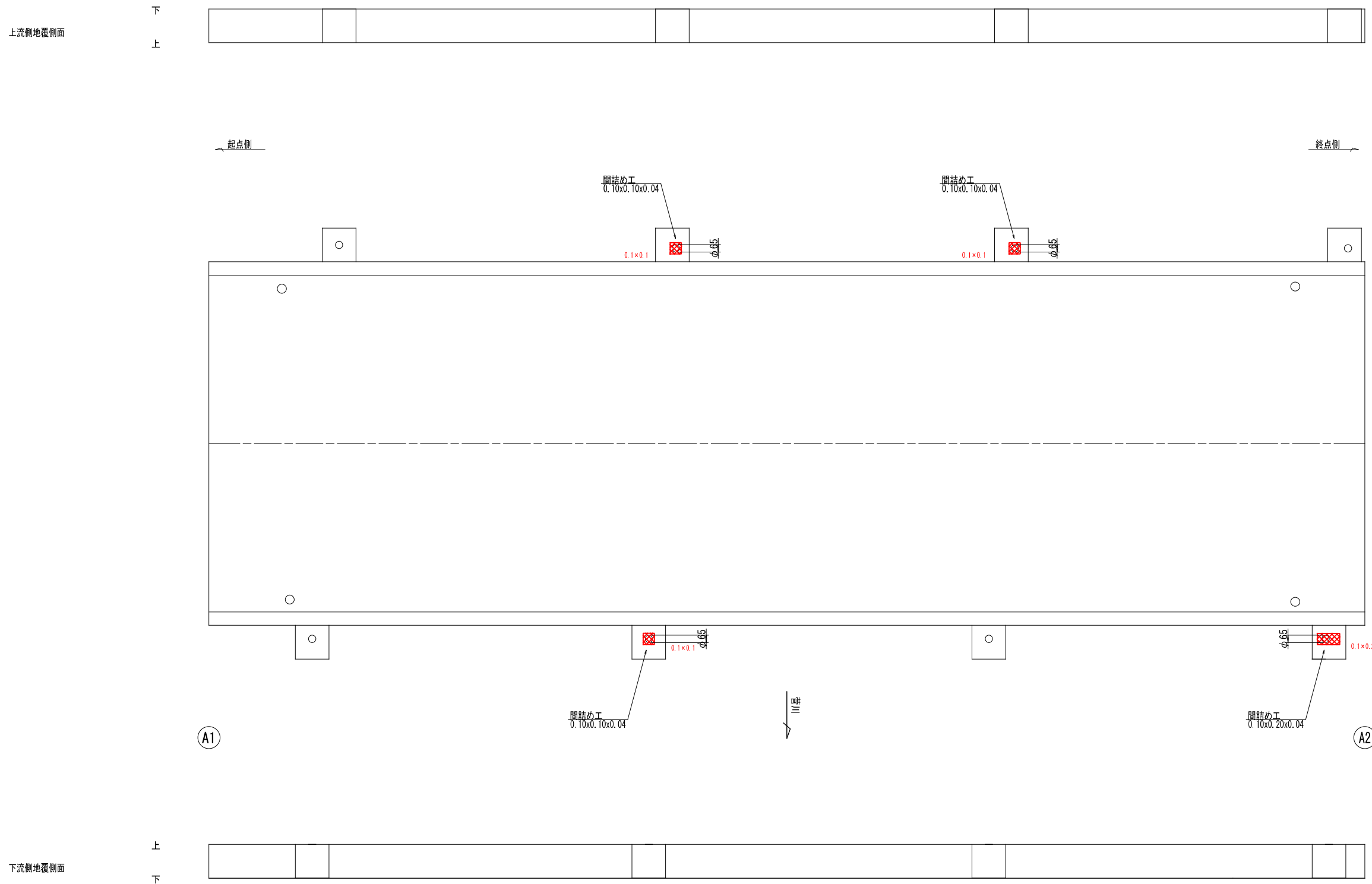
- ※ 本図面は、現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 横桁のはつりについて、プレストレスが作用している可能性があるため作業に当たっては慎重におこなうものとし安全に留意すること。

図面番号	14	18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)			
種別	石井谷1号橋	番	2	号
	補修図(その1)		6	
路線名	市道本郷町石井谷線			
工事箇所	三原市本郷町船木			
三原市				

石井谷1号橋 補修図(その3)

S-1:20

橋面

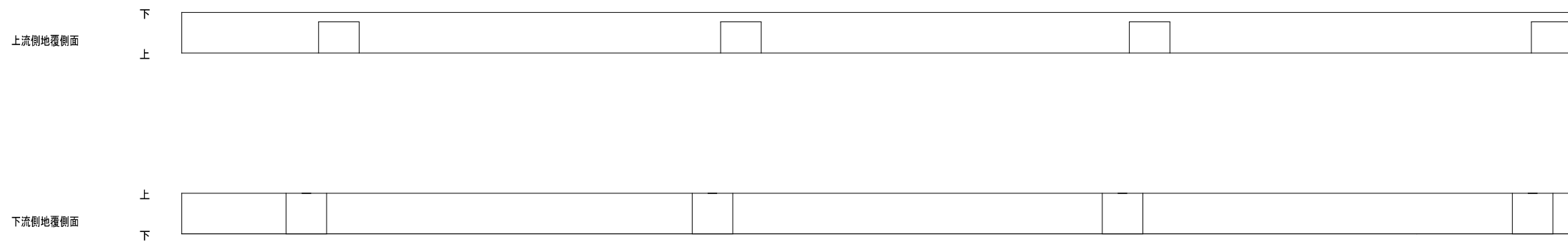
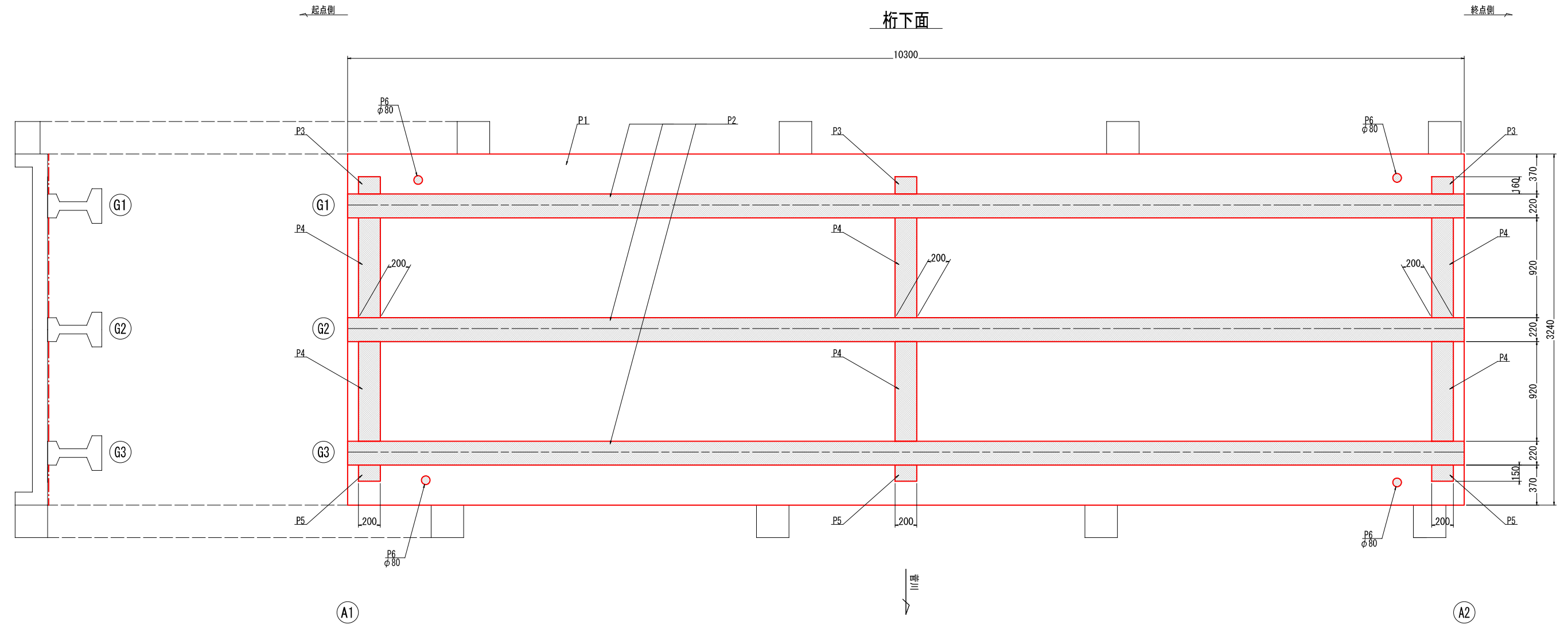


- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん音等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	16 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	石井谷1号橋 補修図(その3)	番 号	4 6
路線名	市道本郷町石井谷線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

石井谷1号橋 補修図(その4)

S=1:20



凡例

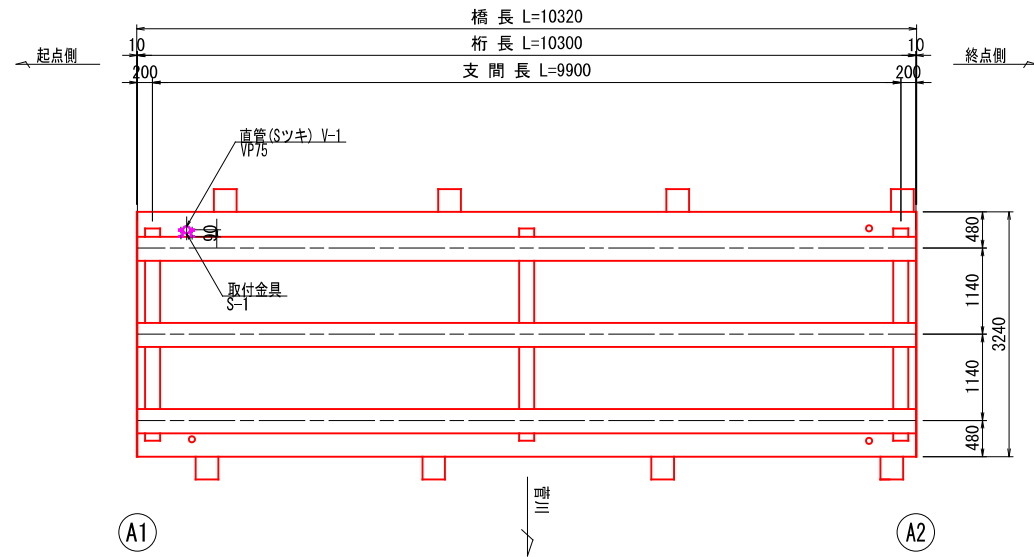
P		表面含浸工
		控除面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材はケイ酸ナトリウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0°C以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25L/㎡以上とする。
- ※ (1回目:0.15L/㎡ 2回目:0.10L/㎡)
- ※ 表面含浸材の塗布に先立って、反応促進剤を塗布すること。

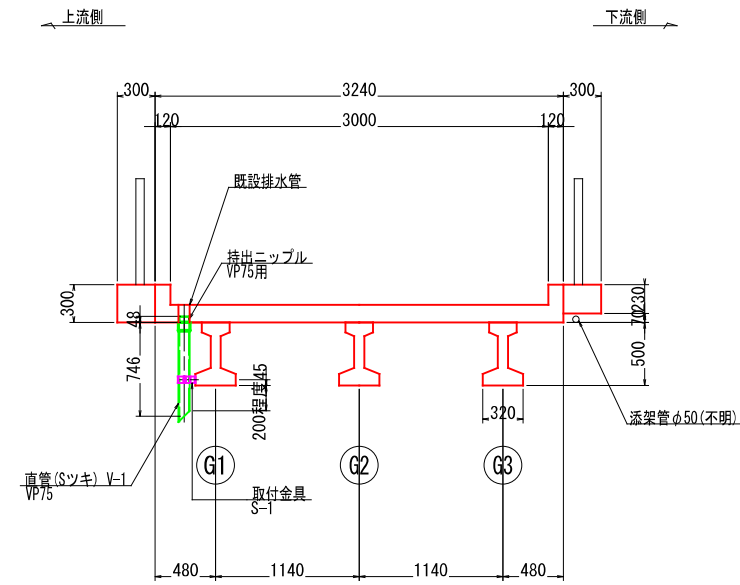
図面番号	17 / 18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	石井谷1号橋 補修図(その4)	番 号	5 / 6
路線名	市道本郷町中筋横断線外		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

石井谷1号橋 排水装置補修図

平面図 S=1:50

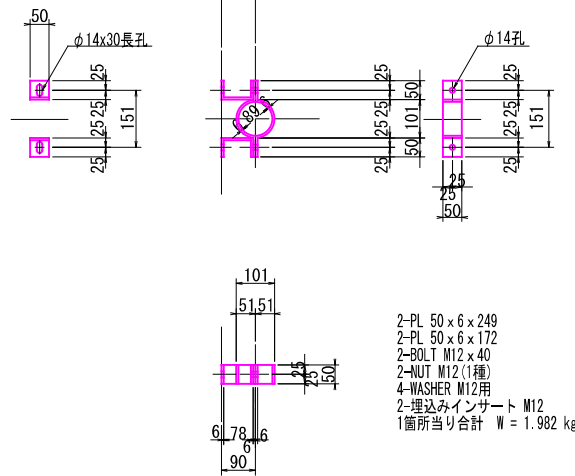


断面図 S=1:30



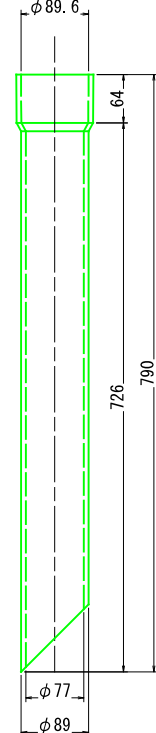
取付金具 S=1:10

VP100用
S-1
製作数: 1



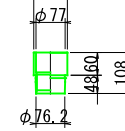
直管 S=1:5

VP75(Sツキ)
V-1
(N=1ヶ)



持出ニップル S=1:10

VP75用
(N=1ヶ)



排水管補修工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
流心延長		m	2.859	
直管	VP75(Sツキ) V-1	本	1	L = 1,010 x 3 = 3,030
持出ニップル	VP75用 S-1	個	1	
取付金具	SS400	組	1	W = 1,982kg/組
	合計鋼材質量	kg	2	
溶融垂鉛めっき	2種HDZ55	kg	2	
ボルト・ナット	ボルト SS400 M12x40	組	2	
	ナット SS400 M12(1種)	個	2	
	ワッシャー SS400 M12用	枚	4	
埋込みインサート	M12	本	2	

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	18	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	石井谷1号橋 排水装置補修図	番号	6/6
路線名	市道本郷町石井谷線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

参 考 資 料

— 橋梁補修工事（市道本郷町中筋横断線船木大橋外 1 橋） —

船木大橋

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート As ……アスファルト DT ……ダンプトラック BH ……バックホウ CC ……クローラークレーン TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
鋼製伸縮継手補修 【伸縮装置非排水化工】	1	式			Y1G03210101 レベル4
伸縮装置非排水化工	29	m			V0003 00
橋梁用防護柵工	29	m			単第0 -0001 表 Y1G032105 レベル3
橋梁用防護柵	1	式			Y1G03210501 レベル4
防護柵補修工 ボルト取替工	3	箇所			V0004 00
	1	式			単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
沓座モルタル補修工					Y1G032108 レベル3
	1	式			
チップング					Y1G03210801 レベル4
	1	m2			
チップング(厚2cm以下)					SPK23040370 00
	1	m2			単第0 -0006 表
沓座無収縮モルタル工 【無収縮モルタル】					Y1G03210804 レベル4
	0.2	m3			
沓座無収縮モルタル工					V0001 00
	0.2	m3			単第0 -0007 表
型枠 【沓座型枠】					Y1G03210805 レベル4
	0.1	m2			
型枠 一般型枠 沓座型枠					SPK23040156 00
	0.1	m2			単第0 -0008 表
孔食補修工					Y3999 レベル3
	1	式			
孔食補修工					Y4999 レベル4
	0.04	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
紫外線硬化型FRPシート貼付					V0002 00
現場塗装工	1	式			単第0 -0009 表
橋梁塗装剥離工	1	式			Y1G0325 レベル2
塗膜除去	1	式			Y3999 レベル3
塗膜除去	167	m2			Y4999 レベル4
塗膜除去	167	m2			F000000008 00
塗膜隔離剤	179	m2			F000000009 00
研削材及びケレンかす回収・積込工	167	m2			F000000010 00
産業廃棄物収集運搬	1	車			F000000011 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
産業廃棄物処分費					F0000000012 00
橋梁塗装工	311	kg			Y1G032501 レベル3
素地調整 【清掃・水洗い】	1	式			Y1G03250101 レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	84	m2			SDT00029 00
素地調整 【2種ケレン】	84	m2			単第0 -0010 表 Y1G03250101 レベル4
塗替塗装 素地調整	84	m2			SDT00029 00
下塗 【有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）】	84	m2			単第0 -0011 表 Y1G03250102 レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	84	m2			SDT00029 00
下塗 【無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗（2層）】	84	m2			単第0 -0012 表 Y1G03250102 レベル4
	84	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 下塗り塗装	84	m2			SDT00029 00 単第0 -0013 表
中塗 【弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用、淡彩】	84	m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	84	m2			SDT00029 00 単第0 -0014 表
上塗 【弱溶剤形ふっ素樹脂塗料、淡彩】	84	m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	84	m2			SDT00029 00 単第0 -0015 表
洗掘防止工	1	式			Y2999 レベル2
洗掘防止工	1	式			Y3999 レベル3
袋詰玉石工 1 t用	28	袋			Y4999 レベル4
袋詰玉石工	28	袋			V0005 00 単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 【コンクリート殻（無筋）】					Y1G03271601 レベル4
	0.2	m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)					SPK23040152 00
	0.2	m3			単第0 -0018 表
殻処分 【コンクリート殻（無筋）】					Y1G03271602 レベル4
	0.2	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻（無筋）処分費					F000000017 00
	0.6	t			
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
足場工					Y3999 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場工					Y4999 レベル4
	1	式			
足場工（床版補強工） 桁高 1.5 m未満					S3030011 00
	20	m2			単第0 -0019 表
足場工（床版補強工） 桁高 1.5 m以上					S3030011 00
	20	m2			単第0 -0020 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔					S3030013 00
	50	m2			単第0 -0021 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	50	m2			単第0 -0022 表
塗膜剥離剤工用養生シート（中段足場無）					F0000000018 00
	1	式			
塗膜剥離剤工用養生シート（中段足場有）					F0000000019 00
	1	式			
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	6	人			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	6	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

乾式止水 材料費

V00031

単第0 -0002 表

頁0 -0012

1

基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
乾式止水材 バリアレックスM	5.786	m			
乾式止水材 防塵フォーム	28.156	L			
乾式止水材 エポキシ樹脂塗料	0.508	kg			
乾式止水材 プライマー	0.085	kg			
乾式止水材 接着剤	1.303	kg			
乾式止水材 シーリング材	2.736	L			
乾式止水材 端部シーリング材	0.882	L			
乾式止水材 支持金具 L90*90*7 (溶融亜鉛メッキ)	8	個			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工単価表

下地処理・乾式止水材設置

V00032

単第0 -0003 表

頁0 -0013

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	4	人			
特殊作業員	16	人			
普通作業員	8	人			
乾式止水材 機械経費 4 t ダンプ	4	台			
乾式止水材 機械経費 ライトバン	4	台			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量35kVA 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	4	日			
乾式止水材 機械経費 ディスクサンダー	8	台			
乾式止水材 照明器具	1	式			
乾式止水材 雑工具	1	式			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	20	L			
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	40	L			
雑材料	20	%			#01

施工単価表

支持金具設置工

V00033

単第0 -0004 表

頁0 -0015

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	2	人			
溶接工	4	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
乾式止水材 機械経費 4 t ダンプ	2	台			
乾式止水材 機械経費 ライトバン	2	台			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量35kVA 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	4	日			
乾式止水材 支持金具設置 溶接機250A	4	台			
支持金具設置 照明器具	1	式			
支持金具設置 雑工具	1	式			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	10	L			
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	40	L			

施工単価表

チップング(厚2cm以下)

SPK23040370

単第0 -0006 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 7,774.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	72.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0008 表

一般型枠

沓座型枠

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,504.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	59.07%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

紫外線硬化型FRPシート貼付

V0002

単第0 -0009 表

頁0 -0021

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1	人			
ウルトラパッチ(100mm*350mm)	1	枚			
ウルトラパッチ(50mm*50mm)	1	枚			
PDプライマー50kg缶	1	缶			
MGパテ(#7GA)	1	缶			
硬化剤(MG-KO)	1	個			
ウルトラパッチペースト	1	缶			
雑材	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

袋詰玉石工

V0005

単第0 -0016 表

頁0 -0028

10

袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.238	人			
特殊作業員	0.238	人			
普通作業員	0.476	人			
袋型値固め用袋材 1t用	10	袋			
割ぐり石150mm～50mm	6.2	m3			
バックホー運転 1日当り山積0.8m3	0.238	日			単第0-0017 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.238	日			
雑材料	2	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			

施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0018 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,443.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

【船木大橋】

数量計算書

1 補修数量総括表

(1/2)

橋梁名：船木大橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	積算数量	備考
	橋梁付属物工	伸縮装置補修工	伸縮装置非排水化工		m	28.9	29	
		防護柵補修工	ボルト取替え	ビーム部ボルト取替え	箇所	3	3	
	橋梁補修工	沓座モルタル補修工	チッピング	厚2cm以下	m ²	1.0	1	
			無収縮モルタル工	プレミックスタイプ	m ³	0.2	0.2	
			型枠	一般型枠 小型構造物	m ²	0.1	0.1	
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込 運搬距離10km DID区間:無し(距離は想定)	m ³	-		運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-		運搬処理工にて計上
					t	-		運搬処理工にて計上
	孔食補修工	紫外線硬化型FRPシート設置工	紫外線硬化型FRPシート貼付		m ²	0.04	0.04	区分A
	現場塗装工	塗膜除去工	湿式塗膜剥離工	湿式塗膜剥離剤工法 (2回を想定)	m ²	166.9	167	
			湿式塗膜剥離剤	湿式塗膜剥離剤工法 (2回を想定)	m ²	166.9	167	標準塗布量：1.0kg/m ²
			材料ロス	m ²	11.7	12	ロス率：7%	
			合計(ロス含み)	m ²	178.6	179		
			廃材の回収・積込	m ²	166.9	167		
			剥離剤および塗料かす運搬工	回	1	1		
		塗装塗替え工, 支承防錆工 Rc-II塗装系	素地調整	2種ケレン	m ²	83.5	84	
防食下地			有機ジンクリッチペイント	m ²	83.5	84	標準塗布量：300g/m ² × 2層	
下塗			弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m ²	83.5	84	標準塗布量：200g/m ²	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗		m ²	83.5	84	標準塗布量：200g/m ²		
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗		m ²	83.5	84	標準塗布量：140g/m ²		
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗		m ²	83.5	84	標準塗布量：120g/m ²		

1 補修数量総括表

橋梁名： 船木大橋

(2/2)

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	積算数量	備考
	洗掘防止工	洗掘防止工	袋詰玉石工	1.0t用	袋	28	28	
	構造物撤去工	構造物取壊し工	構造物とりこわし工	鉄筋構造物 人力施工	m ³	0.0	0	
			運搬処理工	殻運搬	コンクリート殻（無筋）	m ³	0.2	0.2
		殻処分	コンクリート殻（無筋）	t	0.6	0.6		
仮設工	仮設足場工	吊足場	TYPE A1 吊足場 桁高h<1.5	m ²	23	20		
		吊足場	TYPE A2 吊足場 桁高h≥1.5	m ²	23	20	中段足場含む	
		床面シート張防護設置	TYPE A1-3 床面シート張防護設置時	m ²	46	50		
		朝顔	TYPE B 朝顔（両側）	m ²	46	50		
		防護工	TYPE B シート張防護工（両側）	m ²	46	50		
		塗膜剥離剤工用養生シート（中段足場無）	m ²	23	20			
		塗膜剥離剤工用養生シート（中段足場有）	m ²	23	20			

c) 使用材料数量表										
品名	仕様	単位	A1	P1	P2	P3	A2	合計	納入数量(参考)	備考
乾式止水材 バリアレックス-M	No.16	m	5.786	5.786	5.786	5.786	5.786	28.930	6.1 × 5	
防塵フォームPE	ポリエチレンフォーム	L	28.156	28.156	28.156	28.156	28.156	140.780	140.780	
エポキシ樹脂塗料	エポキシ系	kg	0.508	0.508	0.508	0.508	0.508	2.540	3.0	1.0kg/缶x3缶
プライマー(AQ-1)	シリコン系	kg	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.425	0.50	0.25kg/缶x2缶
接着剤(KE-45-TSブラック)	シリコン系	kg	1.303	1.303	1.303	1.303	1.303	6.515	8.0	1.0kg/缶x8缶
シーリング材CF5044	シリコン系	L	2.736	2.736	2.736	2.736	2.736	13.680	15.18	0.33kg/本x46本
端部シーリング材マスター300LS	シリコン系	L	0.882	0.882	0.882	0.882	0.882	4.410	6.93	0.33kg/本x21本
支持金具	L90x90x7x200,SS400	ヶ	8	8	8	8	8	40	40	

b) 設計数量計算式

1. 乾式止水材

位置	計算式	数量(m)
A1	$(343+2550)*2*10^{-3}$	5.786
P1	$(343+2550)*2*10^{-3}$	5.786
P2	$(343+2550)*2*10^{-3}$	5.786
P3	$(343+2550)*2*10^{-3}$	5.786
A2	$(343+2550)*2*10^{-3}$	5.786

2. 防塵フォーム

位置	計算式	数量(L)
A1	$(58105*2*170+60000*140)*10^{-6}$	28.156
P1	$(58105*2*170+60000*140)*10^{-6}$	28.156
P2	$(58105*2*170+60000*140)*10^{-6}$	28.156
P3	$(58105*2*170+60000*140)*10^{-6}$	28.156
A2	$(58105*2*170+60000*140)*10^{-6}$	28.156

3. エポキシ樹脂塗料《ウェブ面1層塗り×両側面》

標準塗布量:0.3kg/m²

位置	計算式	数量(kg)
A1	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.3$	0.508
P1	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.3$	0.508
P2	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.3$	0.508
P3	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.3$	0.508
A2	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.3$	0.508

4. プライマー 《ウェブ面1層塗り×両側面》

標準塗布量:0.05kg/m²

位置	計算式	数量(kg)
A1	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.05$	0.085
P1	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.05$	0.085
P2	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.05$	0.085
P3	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.05$	0.085
A2	$((5786-1100*2)*125.4+(1100*2*100.4)+58105*2+60000)*2*10^{-6}*0.05$	0.085

5. 接着剤 《ウェブ面2層・製品側面1層塗り×両側面》

標準塗布量:0.3kg/m²

位置	計算式	数量(kg)
A1	$((5786-1100*2)*100.4+(1100*2*85.4)+58105*2+60000)*6*10^{-6}*0.3$	1.303
P1	$((5786-1100*2)*100.4+(1100*2*85.4)+58105*2+60000)*6*10^{-6}*0.3$	1.303
P2	$((5786-1100*2)*100.4+(1100*2*85.4)+58105*2+60000)*6*10^{-6}*0.3$	1.303
P3	$((5786-1100*2)*100.4+(1100*2*85.4)+58105*2+60000)*6*10^{-6}*0.3$	1.303
A2	$((5786-1100*2)*100.4+(1100*2*85.4)+58105*2+60000)*6*10^{-6}*0.3$	1.303

6. シーリング材

位置	計算式	数量(L)
A1	$((5786-1100*2)*1/2*25*25+1100*2*1/2*15*15)*2*10^{-6}$	2.736
P1	$((5786-1100*2)*1/2*25*25+1100*2*1/2*15*15)*2*10^{-6}$	2.736
P2	$((5786-1100*2)*1/2*25*25+1100*2*1/2*15*15)*2*10^{-6}$	2.736
P3	$((5786-1100*2)*1/2*25*25+1100*2*1/2*15*15)*2*10^{-6}$	2.736
A2	$((5786-1100*2)*1/2*25*25+1100*2*1/2*15*15)*2*10^{-6}$	2.736

7. 端部シーリング材(t=5mm)

位置	計算式	数量(L)
A1	$(185+350+200)*2*120*5*10^{-6}$	0.882
P1	$(185+350+200)*2*120*5*10^{-6}$	0.882
P2	$(185+350+200)*2*120*5*10^{-6}$	0.882
P3	$(185+350+200)*2*120*5*10^{-6}$	0.882
A2	$(185+350+200)*2*120*5*10^{-6}$	0.882

8. 支持金具

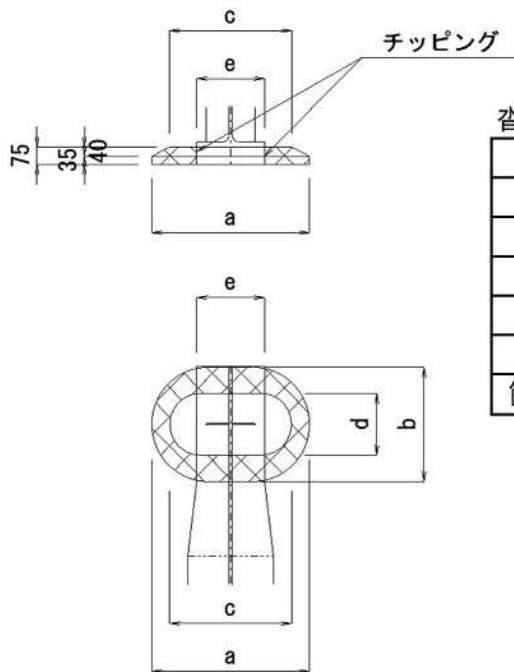
位置	計算式	数量(ヶ)
A1	-	8
P1	-	8
P2	-	8
P3	-	8
A2	-	8

2 防護柵補修工（ボルト取替え）

2.1 ボルト取替え（ビーム支柱取り付け部）

N = 3 = 3箇所

3 沓座モルタル補修工



沓寸法表

(m)

	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	A2橋台
a	0.700	0.670	0.670	0.670	0.700
b	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500
c	0.540	0.440	0.440	0.440	0.540
d	0.270	0.270	0.270	0.270	0.260
e	0.410	0.330	0.330	0.330	0.410
箇所	2	4	2	3	2

※eは下沓を示す。

3.1 チッピング (厚2cm以下)

$$A = 0.500 \times 0.075 \times 2 \times 13 = 0.975 \text{ m}^2$$

3.2 無収縮モルタル工 (プレミックスタイプ)

A1橋台

$$V1-1 = \left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 + (0.700 - 0.500) \times 0.500 \right) \times 0.035 = 0.010 \text{ m}^3$$

$$V1-2 = \left(\frac{\pi}{4} \times 0.270^2 + (0.540 - 0.270) \times 0.270 \right) \times 0.040 = 0.005 \text{ m}^3$$

$$V1-3 = \left\{ \frac{1}{2} \times \left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 - \frac{\pi}{4} \times 0.270^2 \right) + \frac{1}{2} \times \left\{ (0.700 - 0.500) + (0.540 - 0.270) \right\} \right\} \times 0.040 = \frac{0.022 \text{ m}^3}{0.037 \text{ m}^3}$$

P1橋脚～P3橋脚

$$V2-1 = \left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 + (0.670 - 0.500) \times 0.500 \right) \times 0.035 = 0.010 \text{ m}^3$$

$$V2-2 = \left(\frac{\pi}{4} \times 0.270^2 + (0.440 - 0.270) \times 0.270 \right) \times 0.040 = 0.004 \text{ m}^3$$

$$\begin{aligned}
 V2-3 &= \left\{ \frac{1}{2} \times \left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 - \frac{\pi}{4} \times 0.270^2 \right) \right. \\
 &\quad \left. + \frac{1}{2} \times \left\{ (0.670 - 0.500) + (0.440 - 0.270) \right\} \right\} \\
 &\quad \times 2 \times 0.040 \\
 &= 0.016 \text{ m}^3 \\
 &= \underline{0.030 \text{ m}^3}
 \end{aligned}$$

A2橋台

$$\begin{aligned}
 V3-1 &= \left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 + (0.700 - 0.500) \times 0.500 \right) \\
 &\quad \times 0.035 \\
 &= 0.010 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 V3-2 &= \left(\frac{\pi}{4} \times 0.260^2 + (0.540 - 0.260) \times 0.260 \right) \\
 &\quad \times 0.040 \\
 &= 0.005 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 V3-3 &= \left\{ \frac{1}{2} \times \left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 - \frac{\pi}{4} \times 0.260^2 \right) \right. \\
 &\quad \left. + \frac{1}{2} \times \left\{ (0.700 - 0.500) + (0.540 - 0.260) \right\} \right\} \\
 &\quad \times 2 \times 0.040 \\
 &= 0.022 \text{ m}^3 \\
 &= \underline{0.037 \text{ m}^3}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \Sigma V &= (0.037 - 0.410 \times 0.500 \times 0.075) \times 2 \\
 &\quad + (0.030 - 0.330 \times 0.500 \times 0.075) \times 9 \\
 &\quad + (0.037 - 0.410 \times 0.500 \times 0.075) \times 2 \\
 &= 0.245 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

3.3 型枠 (一般型枠 小型構造物)

$$\begin{aligned}
 A1 &= \left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 + (0.700 - 0.500) \times 0.500 \right) \\
 &\quad \times 0.035 \times 2 \\
 &= 0.021 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 &\left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 + (0.670 - 0.500) \times 0.500 \right) \\
 &\quad \times 0.035 \times 9 \\
 &= 0.089 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 &= \left(\frac{\pi}{4} \times 0.500^2 + (0.700 - 0.500) \times 0.500 \right) \\
 &\quad \times 0.035 \times 2 \\
 &= 0.021 \text{ m}^2 \\
 &= \underline{0.131 \text{ m}^2}
 \end{aligned}$$

3.4 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$\begin{aligned}
 V &= 0.245 \\
 &= 0.245 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

3.5 殻処分 (がれき類)

$$\begin{aligned}
 V &= 0.245 \\
 &= 0.245 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 W &= 0.245 \times 2.35 \text{ t} \\
 &= 0.576 \text{ t}
 \end{aligned}$$

4 孔食補修工

4-1 紫外線硬化型FRPシート設置工

(1) 紫外線硬化型FRPシート貼付

歩掛区分

区分A：	紫外線照射なし	0.01m ² /箇所以上0.07m ² /箇所未満	=	0.038 m ²
区分B：	紫外線照射なし	0.07m ² /箇所以上0.15m ² /箇所未満	=	0.000 m ²
区分C：	紫外線照射なし	0.15m ² /箇所以上	=	0.000 m ²
区分A'：	紫外線照射あり	0.01m ² /箇所以上0.07m ² /箇所未満	=	0.000 m ²
区分B'：	紫外線照射あり	0.07m ² /箇所以上0.15m ² /箇所未満	=	0.000 m ²
区分C'：	紫外線照射あり	0.15m ² /箇所以上	=	0.000 m ²
A =	0.038		=	0.038 m ²

5 塗膜除去工

5.1 湿式塗膜剥離工

(1) 湿式塗膜剥離工 (湿式塗膜剥離剤工法)

$$A = 83.473 \times 2回 = 166.946 \text{ m}^2$$

橋梁塗装工より

(2) 湿式塗膜剥離剤 (湿式塗膜剥離剤工法 標準塗布量 : 1.0kg/m²)

$$a1 = 166.946 = 166.946 \text{ m}^2$$

$$a2 = 166.946 \times 0.07 = 11.686 \text{ m}^2$$

ロス率7% ← 土木コスト情報P505
(鋸桁・箱桁7%)

$$\Sigma A = 178.632 \text{ m}^2$$

(3) 廃材の回収・積込

$$A = 166.946 = 166.946 \text{ m}^2$$

(4) 剥離剤および塗料かす運搬工

$$N = 1回 = 1回$$

6 塗装塗替え工, 支承防錆工

6.1 塗装塗替え工, 支承防錆工 (Rc-II 塗装系)

(1) 素地調整 (2種ケレン)

$$A = 83.473 = 83.473 \text{ m}^2$$

(2) 防食下地 (有機ジンクリッチペイント 標準塗布量 : $300\text{g}/\text{m}^2 \times 2$ 層)

$$A = 83.473 = 83.473 \text{ m}^2$$

(3) 下塗 (弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 標準塗布量 : $200\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 83.473 = 83.473 \text{ m}^2$$

(4) 下塗 (弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 標準塗布量 : $200\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 83.473 = 83.473 \text{ m}^2$$

(5) 中塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 標準塗布量 : $140\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 83.473 = 83.473 \text{ m}^2$$

(6) 上塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 標準塗布量 : $120\text{g}/\text{m}^2$)

$$A = 83.473 = 83.473 \text{ m}^2$$

6-2 塗装塗替え工, 支承防錆工数量計算書

部位	参照番号	計 算 式	面数	個数	Net	塗装面積 (m ²)	適 用
第1,4径間							
主桁							
U.Flg.PL.	G1,G2	0.300 × 0.500	1	4	100%	0.600	
		1/2 × (0.300 + 0.380) × 0.330	1	4	100%	0.449	
		0.380 × 0.070	1	3	100%	0.080	
		0.380 × 0.075	1	1	100%	0.029	
Web.PL.	G1,G2	0.844 × 0.900	2	3	100%	4.558	
		0.844 × 0.905	2	1	100%	1.528	
L.Flg.PL.	G1,G2	0.300 × 0.500	2	4	100%	1.200	
		1/2 × (0.300 + 0.380) × 0.330	2	4	100%	0.898	
		0.380 × 0.070	2	3	100%	0.160	
		0.380 × 0.075	2	1	100%	0.057	
V.St.PL.	G1,G2	0.115 × 0.844	2	16	100%	3.106	
		- 0.380 × 0.090	1	8	100%	-0.274	端横桁との設置面
		小計				12.391	
端横桁							
[3.035 × 54.5kg/m × 0.0203m ² /kg	1	4	100%	13.431	[-380×100×10.5×16
		- 0.380 × 0.090	1	4	100%	-0.137	横桁との設置面
		1/2 × 0.380 × 0.510	2	4	100%	0.775	
		0.090 × 0.618	2	4	100%	0.445	
		小計				14.514	
支承							
Sh	固定	0.028	1	8	100%	0.224	
	可動	0.024	1	8	100%	0.192	
		小計				0.416	

部位	参照番号	計 算 式	面数	個数	Net	塗装面積 (m ²)	適 用
排水管							
Pipe		0.1143 × 1.023	1	4	100%	0.468	
		小計				0.468	
第2,3径間							
主桁							
U.Flg.PL.	G1,G2	0.300 × 0.755	1	4	100%	0.906	
		0.300 × 0.828	1	4	100%	0.994	
Web.PL.	G1,G2	1.654 × 0.755	2	4	100%	9.990	
		1.654 × 0.828	2	4	100%	10.956	
L.Flg.PL.	G1,G2	0.300 × 0.755	1	4	100%	0.906	
		0.300 × 0.828	1	4	100%	0.994	
V.St.PL.	G1,G2	0.130 × 1.654	2	16	100%	6.881	
		- 0.250 × 0.105	1	8	100%	-0.210	端横桁との設置面
		- 0.130 × 0.105	1	8	100%	-0.109	端横桁との設置面
H.St.PL.	G1,G2	0.100 × 0.501	2	2	100%	0.200	
		0.100 × 0.573	2	2	100%	0.229	
		小計				31.737	
端対傾構							
[3.035 × 34.6kg/m × 0.0235m ² /kg	1	4	100%	9.871	[-250×90×9×13
		- 0.250 × 0.105	1	8	100%	-0.210	横桁との設置面
L		3.035 × 17.9kg/m × 0.0217m ² /kg	1	4	100%	4.716	L-130×130×12
		- 0.130 × 0.105	1	8	100%	-0.109	
L		1.400 × 17.9kg/m × 0.0217m ² /kg	1	8	100%	4.350	L-130×130×12
PL		0.066	2	8	100%	1.056	
		0.095	2	4	100%	0.760	
		小計				20.434	

7 洗掘対策工

7-1 袋詰玉石工 (1.0t用)

N = 28

= 28 袋

橋梁名： 船木大橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	日進量	日数	備考	
	橋梁付属物工	伸縮装置工	鋼製伸縮装置	荷重支持型 鋼製ジョイント-30mm用	m	25.3			車道用 通し筋含む	
				伸縮装置設置延長（補修）	m	25.3				
		防護柵補修工	ボルト取替え	ビーム部ボルト取替え	箇所	3				
	洗掘対策工	洗掘対策工	袋詰玉石工	1.0t用		袋	28	42		1*10/N=0.238（資料より） N=42袋/日
	構造物撤去工	構造物撤去工	コンクリート殻運搬	無筋 人力積込		m ³	0.2	5.0	0.04	
仮設工	仮設足場工		吊足場	TYPE A1 吊足場 桁高h<1.5	m ²	23	38	0.61	中段足場含む	
			吊足場	TYPE A2 吊足場 桁高h≥1.5	m ²	23	33	0.70		
			床面シート張防護設置	TYPE A1-3 床面シート張防護設置時	m ²	46	714	0.06		
			朝顔	TYPE B 朝顔（両側）	m ²	46	227	0.20		
			防護工	TYPE B シート張防護工（両側）	m ²	46	1250	0.04		

合計 10.57
 ×1.8 19.03 23.0日
 足場供用月数 0.60 ヶ月

橋梁名：船木大橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	日進量	日数	備考
	橋梁付属物工	伸縮装置工	鋼製伸縮装置	荷重支持型 鋼製ジョイント-30mm用	m	28.9			車道用 通し筋含む
				伸縮装置設置延長（補修）	m	28.9			
		防護柵補修工	ボルト取替え	ビーム部ボルト取替え	箇所	3			
	洗掘対策工	洗掘対策工	袋詰玉石工	1.0t用	袋	28	42	0.67	1*10/N=0.238（資料より）
									N=42袋/日
構造物撤去工	構造物撤去工	コンクリート殻運搬	無筋 人力積込	m ³	0.2	5.0	0.04		
仮設工	仮設足場工	吊足場	吊足場	TYPE A1 吊足場 桁高h<1.5	m ²	23	38	0.61	
				TYPE A2 吊足場 桁高h≥1.5	m ²	23	33	0.70	中段足場含む
			床面シート張防護設置	TYPE A1-3 床面シート張防護設置時	m ²	46	714	0.06	
			朝顔	TYPE B 朝顔（両側）	m ²	46	227	0.20	
			防護工	TYPE B シート張防護工（両側）	m ²	46	1250	0.04	

2.35 3日

2人計上

6人

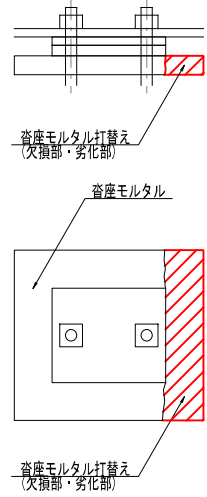
参 考 図

— 橋梁補修工事（市道本郷町中筋横断線船木大橋外 1 橋） —

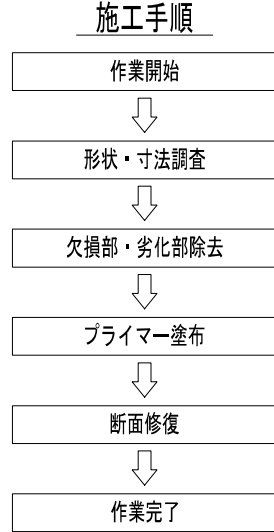
船木大橋

船木大橋 補修詳細図(参考図)

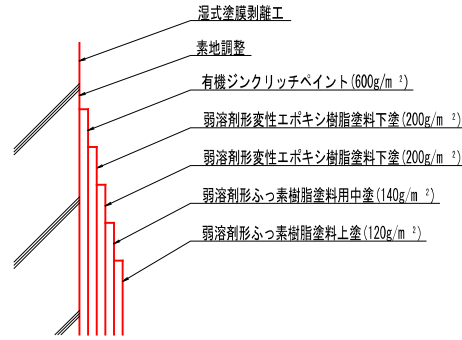
沓座モルタル補修工 (参考図)



※ 沓座モルタル補修工は、原形復旧を基本とする。
 ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。



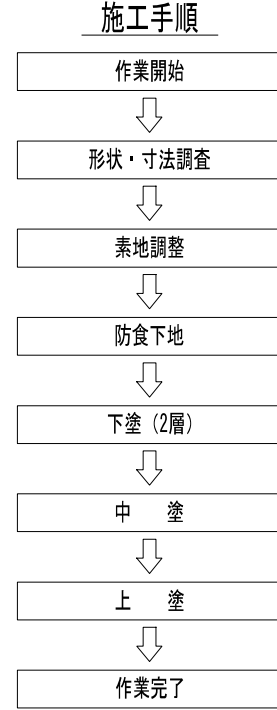
塗装塗替え工, 支承防錆工 (参考図)



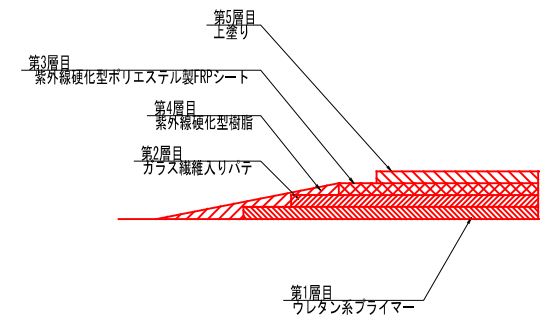
塗装仕様：Rc-II 塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	2 種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	200	1日~10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日~10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日~10日

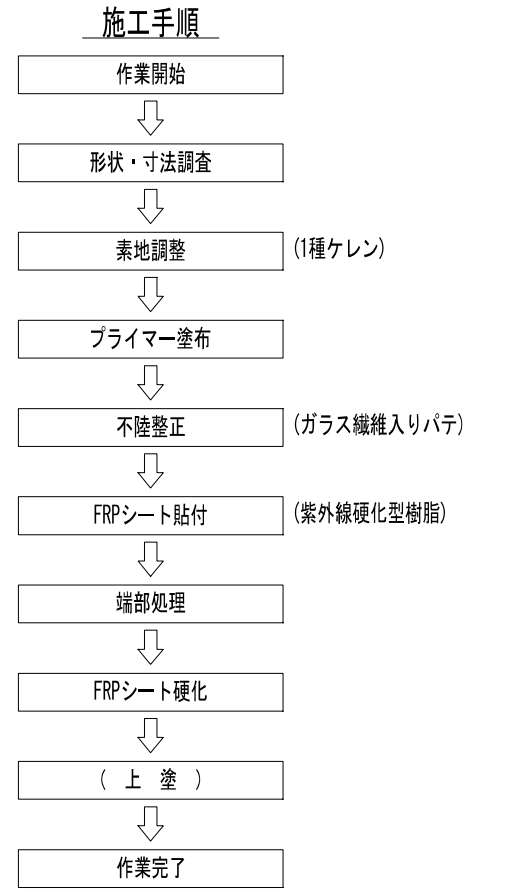
※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
 ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
 ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
 ※ 塗布量は標準使用量以上とすること。
 ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
 ※ 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。



孔食補修工(紫外線硬化型FRPシート設置工) (参考図)

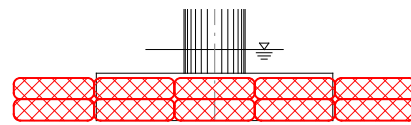


※ 上塗り材料は、塗替え塗装と同様の材料を塗布すること。

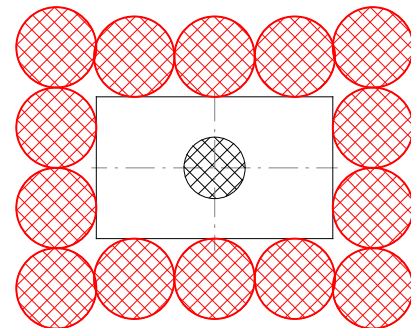


袋詰玉石工 (参考図)

(側面図)

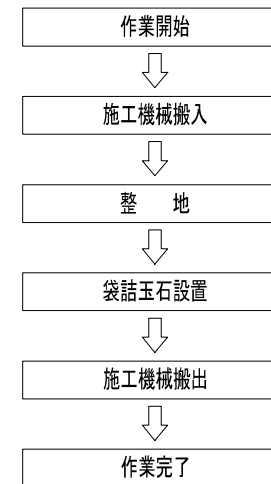


(平面図)



※ 粒径は、150~200mm程度とすること。

施工手順

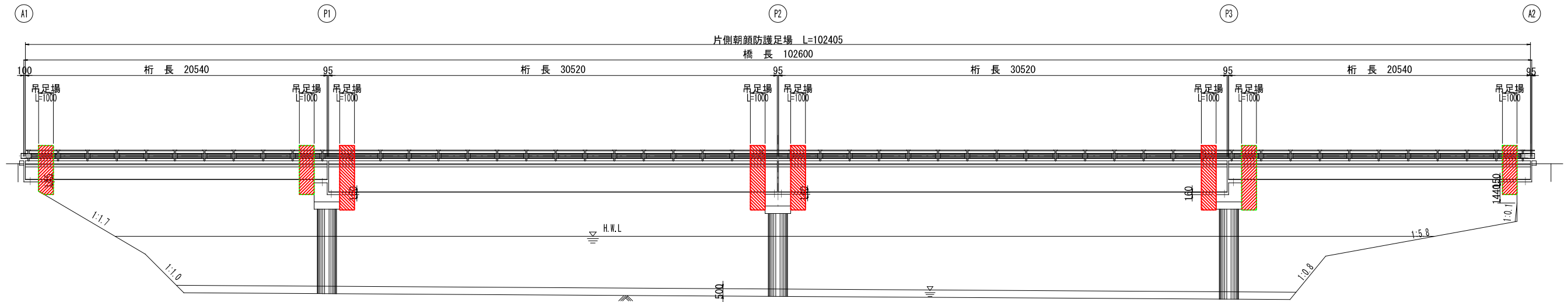


※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

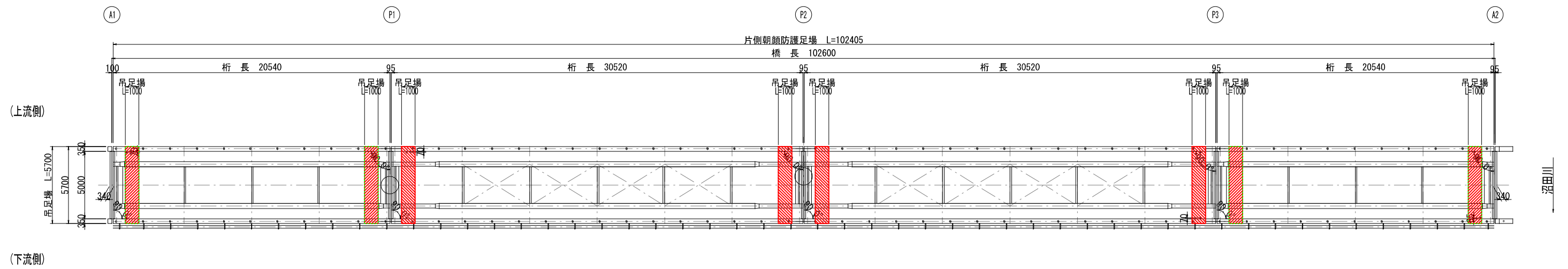
図面番号	1 / 5	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種 別	船木大橋 補修詳細図(参考図)	番 号	1 / 3
路 線 名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三 原 市			

船木大橋 仮設足場図(参考図)(その1)

側面図 S=1:150



平面図 S=1:150



凡例

	吊足場 (TYPE A1)
	吊足場 (TYPE A2)

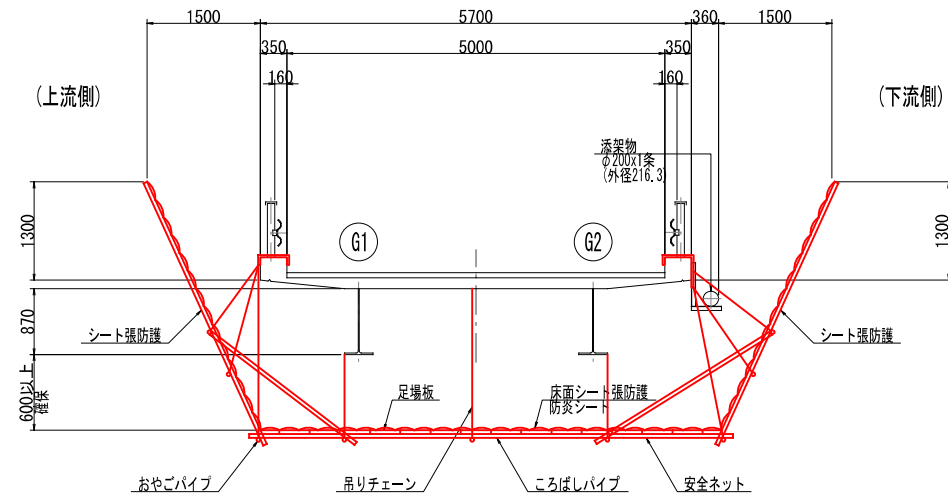
- ※ 足場架設は添築物の干渉を避けて設置すること。
- ※ 添築物に干渉する場合は、防護を行うこと。

図面番号	2 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋 仮設足場図(参考図)(その1)	番 号	2 / 3
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

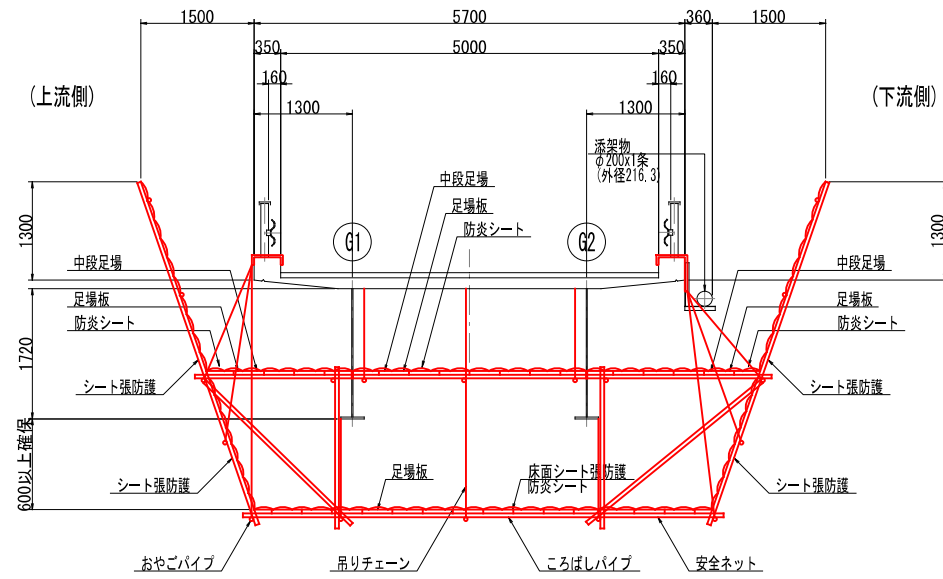
船木大橋 仮設足場図(参考図)(その2)

断面図 S=1:50

(第1,第4径間)



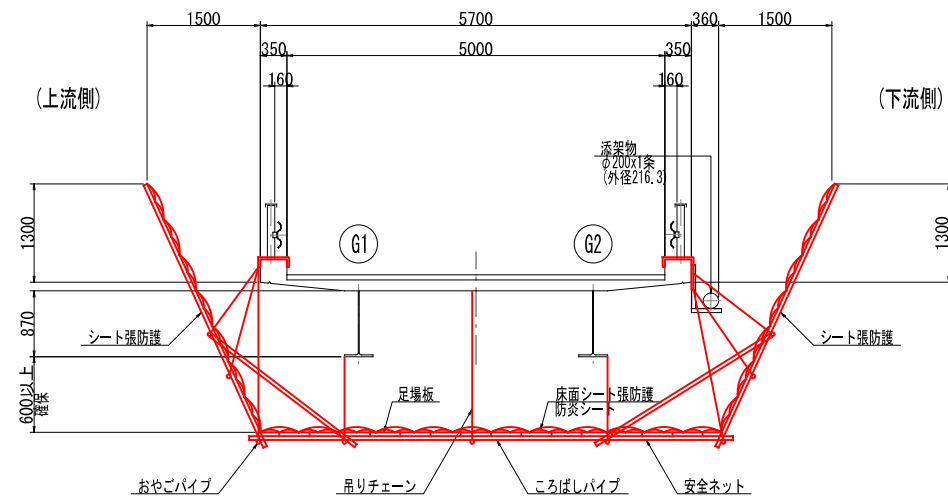
(第2,第3径間)



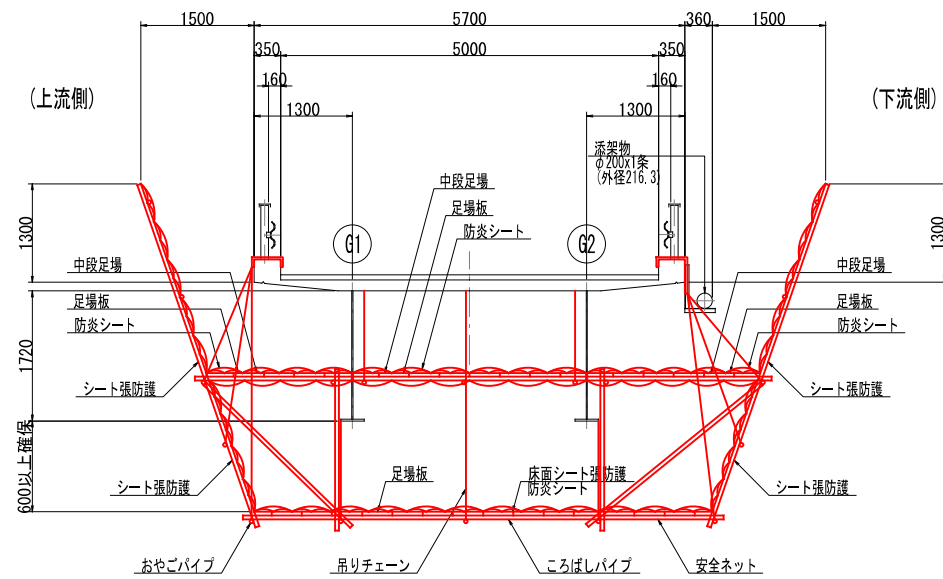
注：シート張防護は防炎シートと剥離利用養生シート（難燃性等）を行うこと。

湿式塗膜剥離工 施工時 S=1:50

(第1,第4径間)



(第2,第3径間)



図面番号	3 / 5	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	船木大橋 仮設足場図(参考図)(その2)	番号	3 / 3
路線名	市道本郷町中筋横断線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

参 考 资 料

— 桥梁补修工事（市道本郷町中筋横断線船木大橋外 1 橋） —

石井谷 1 号橋

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3
排水管 【VP75】	1	式			Y1G03210302 レベル4
橋梁_排水管設置 足場有り	1	m			SPK23040408 00
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径75(89×5.5) 参考質量2.202kg/m	1	m			単第0 -0001 表 TTPCD0393 00
橋梁水切り材	21	m			Y4999 レベル4
水切り材	21	m			V0001 00
					単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁補修工					Y1G0324 レベル2
	1	式			
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 【ポリマーセメント】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有】					Y1G03240501 レベル4
	1	構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.691m3					S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0003 表
表面被覆工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
下地処理					Y1G03240601 レベル4
	1	橋			
下地処理					V0002 00
	25	m2			単第0 -0004 表
表面含浸 ケイ酸塩系(鉄筋防錆効果付与)					Y4999 レベル4
	1	橋			
ケイ酸ナトリウム系表面含浸材					V0003 00
	25	m2			単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 【コンクリート殻（無筋）】					Y1G03271601 レベル4
	0.7	m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)					SPK23040152 00
	0.7	m3			単第0 -0006 表
殻処分 【コンクリート殻（無筋）】					Y1G03271602 レベル4
	0.7	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻（無筋）処分費					F000000007 00
	2	t			
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
足場工					Y3999 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場工					Y4999 レベル4
	1	式			
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満					S3030011 00
	30	m2			単第0 -0007 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔					S3030013 00
	30	m 2			単第0 -0008 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	30	m 2			単第0 -0009 表
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	4	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	4	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					

施工単価表

橋梁_排水管設置

SPK23040408

単第0 -0001 表

足場有り

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,722.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	48.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	29.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	21.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 足場有り					

施工単価表

下地処理

V0002

単第0 -0004 表

頁0 -0011

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	3	人			
普通作業員	2	人			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100

m2 当り

施工単価表

ケイ酸ナトリウム系表面含浸材

V0003

単第0 -0005 表

頁0 -0012

20

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	0.9	人			
ケイ酸ナトリウム系表面含浸材 スーパーシールド相当品 ロス率15%計上	5.8	L			
塗布量確認材 スーパーシールド相当品専用塗布量確認材 5組/1セット	1	セット			
反応促進剤 ストレングス剤相当品	5.8	L			
機械賃料 薬剤噴霧器，給水タンク他	1	式			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	20	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0013

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0006 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,244.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

石井谷1号橋

数量計算書

1.1 補修数量総括表

橋梁名：石井谷1号橋

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考	
道路修繕	橋梁補修工	断面修復工 左官工法	左官工法 延べ施工量	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	m ³	0.69		
				材料ロス	m ³	0.13	ロス率：18%	
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込	m ³	-	運搬処理工にて計上	
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上	
					t	-	運搬処理工にて計上	
		表面処理工 表面含浸工	下地処理工	サンダーケレン	m ²	25.3		
			含浸材塗布工	ケイ酸ナトリウム系表面含浸材	m ²	25.3		
				含浸材	ストレングス剤同等品以上	ℓ	6.3	標準使用量：0.25ℓ/m ²
			含浸材	スーパーシールド同等品以上	材料ロス	ℓ	0.9	ロス率：15%
					材料ロス	ℓ	0.9	ロス率：15%
	テスター設置		組	1				
	橋梁付属物工	排水装置補修工 塩化ビニル管	排水管流心延長	排水管	VP75	m	0.8	
				持出ニップル	VP75用	個	1	
				取付金具	SS400 S-1	組	1	W=1.982kg/組
					合計鋼材質量	kg	2	
				溶融亜鉛めっき	2種HDZ55：付着量550g/m ² 以上	kg	2	
				取付金具取付		本	2	
				ボルト・ナット	Bolt M12×40	本	2	
					Nut SS400 M12(1種)	個	2	
					Washer SS400 M12用	枚	4	
埋込みインサート				M12	本	2		

1.2 断面修復工（左官工法）

1.2.1 左官工法（ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む）

（1）延べ施工量

$$v1 = 0.691 = 0.691 \text{ m}^3$$

間詰め工

$$v2 = (0.100 \times 0.100 \times 3 + 0.100 \times 0.200 - \frac{\pi}{4} \times 0.065^2 \times 4) \times 0.040 = 0.001 \text{ m}^3$$

$$v3 = 0.692 \times 0.18 \quad \text{ロス率18\%} \quad = 0.125 \text{ m}^3$$
$$\underline{\Sigma V = 0.817 \text{ m}^3}$$

1.2.2 殻運搬

（1）コンクリート構造物 人力積込

$$V = 0.691 = 0.691 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

1.2.3 殻処分（がれき類）

$$V = 0.691 = 0.691 \text{ m}^3$$

$$W = 0.691 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 1.624 \text{ t}$$

1.2.4 左官工法 数量計算書

番号	部 位	形状・寸法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	桁下面						
1		0.30 × 1.10	0.330	0.060	0.498	0.020	
2		0.30 × 0.30	0.090	0.060	0.162	0.005	
3		0.25 × 0.20	0.050	0.060	0.104	0.003	
4		0.35 × 0.85	0.298	0.060	0.442	0.018	
5		0.30 × 0.50	0.150	0.060	0.246	0.009	
6		0.30 × 0.40	0.120	0.060	0.204	0.007	
7		0.35 × 4.70	1.645	0.060	2.251	0.099	
8		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
9		0.90 × 0.40	0.360	0.060	0.516	0.022	
10		0.70 × 0.80	0.560	0.060	0.740	0.034	
11		0.35 × 0.30	0.105	0.060	0.183	0.006	
12		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
13		0.20 × 0.40	0.080	0.060	0.152	0.005	
14		0.15 × 0.15	0.023	0.060	0.059	0.001	
15		0.25 × 0.15	0.038	0.060	0.086	0.002	
16		0.50 × 0.25	0.125	0.060	0.215	0.008	
17		0.30 × 0.30	0.090	0.060	0.162	0.005	
18		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
19		0.50 × 0.40	0.200	0.060	0.308	0.012	
20		0.35 × 0.60	0.210	0.060	0.324	0.013	
21		0.50 × 1.00	0.500	0.060	0.680	0.030	
22		0.90 × 0.35	0.315	0.060	0.465	0.019	
23		0.90 × 0.35	0.315	0.060	0.465	0.019	
24		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
25		0.30 × 0.30	0.090	0.060	0.162	0.005	
26		0.15 × 0.10	0.015	0.060	0.045	0.001	
27		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
28		0.20 × 0.20	0.040	0.060	0.088	0.002	
29		0.15 × 0.10	0.015	0.060	0.045	0.001	
30		0.50 × 0.20	0.100	0.060	0.184	0.006	
31		0.70 × 0.40	0.280	0.060	0.412	0.017	
32		0.30 × 0.30	0.090	0.060	0.162	0.005	
33		0.45 × 0.25	0.113	0.060	0.197	0.007	
34		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
35		0.25 × 0.25	0.063	0.060	0.123	0.004	
36		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
37		0.15 × 0.80	0.120	0.060	0.234	0.007	
38		0.15 × 0.30	0.045	0.060	0.099	0.003	
39		0.60 × 0.80	0.480	0.060	0.648	0.029	
40		0.90 × 0.60	0.540	0.060	0.720	0.032	
41		0.20 × 0.50	0.100	0.060	0.184	0.006	
42		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
43		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
44		0.10 × 0.70	0.070	0.060	0.166	0.004	
45		0.20 × 0.30	0.060	0.060	0.120	0.004	
46		0.10 × 0.30	0.030	0.060	0.078	0.002	
47		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
48		0.15 × 0.10	0.015	0.060	0.045	0.001	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
49		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
50		0.15 × 0.15	0.023	0.060	0.059	0.001	
51		0.15 × 0.15	0.023	0.060	0.059	0.001	
52		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
53		0.10 × 0.30	0.030	0.060	0.078	0.002	
54		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
55		0.10 × 0.20	0.020	0.060	0.056	0.001	
56		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
57		0.15 × 0.15	0.023	0.060	0.059	0.001	
58		0.10 × 4.70	0.470	0.060	1.046	0.028	
59		0.35 × 2.70	0.945	0.060	1.311	0.057	
60		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
61		0.10 × 0.15	0.015	0.060	0.045	0.001	
62		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
63		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
64		0.30 × 0.30	0.090	0.060	0.162	0.005	
65		0.30 × 0.90	0.270	0.060	0.414	0.016	
66		0.10 × 0.20	0.020	0.060	0.056	0.001	
67		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
68		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
69		0.15 × 0.80	0.120	0.060	0.234	0.007	
70		0.30 × 0.10	0.030	0.060	0.078	0.002	
71		0.30 × 0.30	0.090	0.060	0.162	0.005	
72		0.25 × 0.70	0.175	0.060	0.289	0.011	
73		0.30 × 0.30	0.090	0.060	0.162	0.005	
74		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
75		0.10 × 0.40	0.040	0.060	0.100	0.002	
76		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
	小計		10.654		17.278	0.640	ケレン・防錆:有
D	主桁						
1		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
2		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
3		0.10 × 0.20	0.020	0.060	0.056	0.001	
4		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
5		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
6		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
7		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
8		0.15 × 0.10	0.015	0.060	0.045	0.001	
9		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
10		0.15 × 0.10	0.015	0.060	0.045	0.001	
11		0.15 × 0.10	0.015	0.060	0.045	0.001	
12		0.15 × 0.10	0.015	0.060	0.045	0.001	
13		0.20 × 0.10	0.020	0.060	0.056	0.001	
14		0.15 × 0.10	0.015	0.060	0.045	0.001	
15		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
16		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
17		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	
18		0.10 × 0.10	0.010	0.060	0.034	0.001	

1.3 表面処理工（表面含浸工）

1.3.1 表面含浸工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

（1）下地処理工（サンダーケレン）

$$A = 25.264 = 25.264 \text{ m}^2$$

（2）含浸材塗布工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

$$A = 25.264 = 25.264 \text{ m}^2$$

（3）含浸材（ストレングス剤同等品以上）

$$w1 = 25.264 \times 0.25 \text{ ㏍/m}^2 = 6.316 \text{ ㏍}$$

標準使用量

$$w2 = 6.316 \times 0.15 = 0.947 \text{ ㏍}$$

ロス率15%

$$\Sigma W = 7.263 \text{ ㏍}$$

（4）含浸材（スーパーシールド同等品以上）

$$w1 = 25.264 \times 0.25 \text{ ㏍/m}^2 = 6.316 \text{ ㏍}$$

標準使用量

$$w2 = 6.316 \times 0.15 = 0.947 \text{ ㏍}$$

ロス率15%

$$\Sigma W = 7.263 \text{ ㏍}$$

（5）テスター設置（1組/30m²）

$$N = 25.264 / 30 \text{ m}^2/1\text{組} = 1 \text{ 組}$$

1.4 排水装置補修工（塩化ビニル管）

1.4.1 排水管設置

（1）流心延長

$$L = 0.794 \times 1 = 0.794 \text{ m}$$

1.4.2 排水管（VP75）

$$L = 0.790 \times 1 = 0.790 \text{ m}$$

1.4.3 持出ニップル（VP75用）

$$N = 1 = 1 \text{ 個}$$

1.4.4 取付金具

（1）取付金具（SS400）

1) S-1

$$N = 1 = 1 \text{ 組}$$

$$W = 1.982 \times 1 = 1.982 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = 1.982 = 2 \text{ kg}$$

（2）溶融亜鉛めっき（2種HDZ55）

$$W = 2 = 2 \text{ kg}$$

1.4.5 取付金具取付

$$N = 1 \times 2 = 2 \text{ 本}$$

1.4.6 ボルト・ナット

(1) Bolt (SS400)

1) M12×40

$$N = 1 \times 2 = 2 \text{ 本}$$

(2) Nut (SS400)

1) M12 (1種)

$$N = 1 \times 2 = 2 \text{ 個}$$

(3) Washer (SS400)

1) M12用

$$N = 1 \times 2 \times 2 = 4 \text{ 枚}$$

1.4.7 埋込みインサート (M12)

$$N = 2 = 2 \text{ 本}$$

1.5 水切り工

1.5.1 水切り材 (軟質PVC製水切り材)

$$L = 10.300 + 10.300 = 20.600 \text{ m}$$

1.5.2 下地処理

$$A = 20.600 \times 0.025 = 0.515 \text{ m}^2$$

1.5.3 接着剤塗布 (エポキシ樹脂系接着剤)

$$A = 20.600 \times 0.025 = 0.515 \text{ m}^2$$

1.6 運搬処理工

1.6.1 殻運搬

※ 運搬は、「運搬距離10km DID区間:無し」程度を想定。

(1) コンクリート構造物 人力積込

1) 断面修復工 (左官工法)

$$V = 0.691 \quad = 0.691 \text{ m}^3$$

1.6.2 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.691 \quad = 0.691 \text{ m}^3$$

$$W = 0.691 \times 2.35 \text{ t/m}^3 \quad = 1.624 \text{ t}$$

1.7 仮設足場工

1.7.1 吊足場

(1) 吊足場 (TYPE A1 吊足場 桁高 $h < 1.5$)

$$A = 9.290 \times 3.240 = 30.100 \text{ m}^2$$

(2) 床面シート張防護設置 (床面シート張防護設置時)

$$A = 30.100 = 30.100 \text{ m}^2$$

(3) 朝顔 (TYPE B 朝顔(両側))

$$A = 30.100 = 30.100 \text{ m}^2$$

(4) 防護工 (TYPE B シート張防護工(両側))

$$A = 30.100 = 30.100 \text{ m}^2$$

種 別	細 別 ・ 規 格	単位	全数量	能力/組	組数	組数能力	実働日数 (日)	供用係数	作業日数 (日)	出 典	備 考
仮設足場工	吊足場 (桁高h<1.5)	m ²	30	38.0	1	38.0	0.8	1.8	1.4	R5.8 土木工事標準積算基準書 p. I-250	
	床面シート張防護設置	m ²	30	714.0	1	714.0	0.1	1.8	0.2	橋梁架設工事の積算 令和4年度 p. 4-20	
	朝顔 (両側)	m ²	30	227.0	1	227.0	0.2	1.8	0.4	R5.8 土木工事標準積算基準書 p. I-250	
	シート張防護工 (両側)	m ²	30	1,250.0	1	1,250.0	0.1	1.8	0.2	"	
	合計日数	式	1				1.2		3		
排水管補修工 足場有	排水管設置	m	0.8	17.0	1	17.0	0.1	1.8	0.2	R5.8 土木工事標準積算基準書 I-274	
	取付金具設置	本	2	59.0	1	59.0	0.1	1.8	0.2	"	
	合計日数	式	1				0.2		1		
断面修復工	左官工法 0.1m ² 以上 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	m ³	0.69	0.069	1	0.069	10.0	1.8	18.0	R5.8 土木工事標準積算基準書 I-162	
	合計日数	式	1				10.0		18		
表面処理工 (表面含浸工法)	下地処理	m ²	25.3	50.0	1	50.0	0.6	1.8	1.1	メーカー公表歩掛 2.0人/100m ²	スーパーシールド
	含浸材塗布	m ²	25.3	150.0	1	150.0	0.2	1.8	0.4	メーカー公表歩掛 2.0人/300m ²	スーパーシールド
	合計日数	式	1				0.8		2		
	合計日数	式	1				0.8		2		
水切り工	水切り設置	m	20.6	90.0	1	90.0	0.3	1.8	0.5	メーカー公表歩掛 90m/日	アイドリップ
	合計日数	式	1				0.3		1		
	足場日数	日月							25 0.9		

橋梁名：石井谷1号橋

誘導員日数

種 別	細 別 ・ 規 格	単 位	全数量	能力/組	組数	組数能力	実働日数 (日)	出 典	備 考
仮設足場工	吊足場 (桁高h<1.5)	m ²	30	38.0	1	38.0	0.8	R5.8 土木工事標準積算基準書 p. I-250	
	床面シート張防護設置	m ²	30	714.0	1	714.0	0.1	橋梁架設工事の積算 令和4年度 p. 4-20	
	朝顔 (両側)	m ²	30	227.0	1	227.0	0.2	R5.8 土木工事標準積算基準書 p. I-250	
	シート張防護工 (両側)	m ²	30	1,250.0	1	1,250.0	0.1	"	
	合計日数	式	1				1.2		
排水管補修工	排水管設置	m	0.8	17.0	1	17.0		R5.8 土木工事標準積算基準書 I-274	
	取付金具設置	本	2	59.0	1	59.0		"	
	合計日数	式	1				0.0		
断面修復工	左官工法 0.1m ² 以上 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	m ³	0.69	0.069	1	0.069		R5.8 土木工事標準積算基準書 I-162	
	合計日数	式	1				0.0		
表面処理工 (表面含浸工法)	下地処理	m ²	25.3	50.0	1	50.0		メーカー公表歩掛 2.0人/100m ²	スーパーシールド
	含浸材塗布	m ²	25.3	150.0	1	150.0		メーカー公表歩掛 2.0人/300m ²	スーパーシールド
	合計日数	式	1				0.0		
水切り工	水切り設置	m	20.6	90.0	1	90.0		メーカー公表歩掛 90m/日	アオイ化学工業 (株)
	合計日数	式	1				0.0		
	交通誘導員 (2人/日)	日 日 人					1.2 2 4	足場架設時、計上	

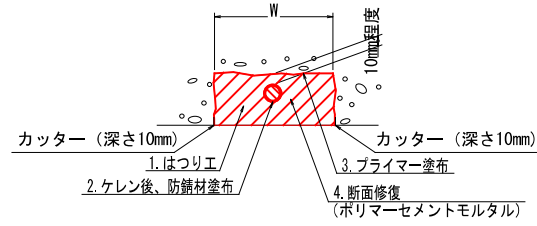
参 考 図

— 橋梁補修工事（市道本郷町中筋横断線船木大橋外 1 橋） —

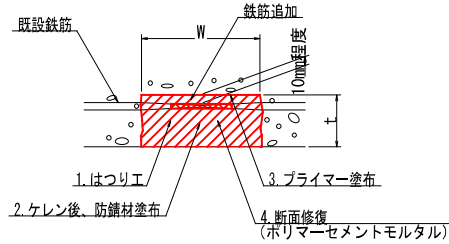
石井谷 1 号橋

石井谷1号橋 補修詳細図(参考図)

間詰め工, 断面修復工(左官工法) (参考図)

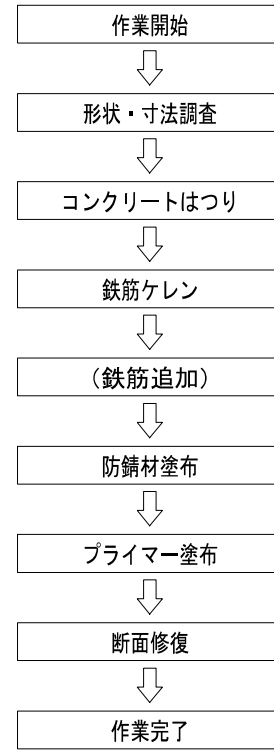


断面修復工(鉄筋追加)(左官工法) (参考図)



- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザーエッジとならない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所は協議の上、対策を決定すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とするが、純かぶり10mm未満の箇所については、10mm以上のかぶり厚を確保させること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

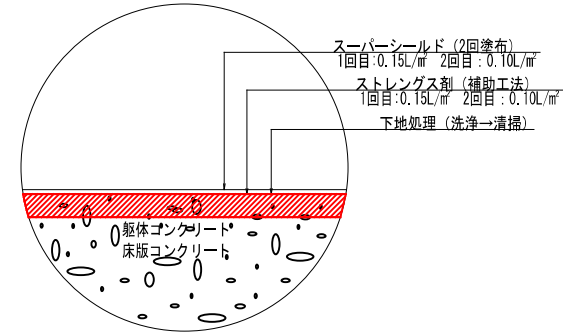
施工手順



表面含浸工 (参考図)

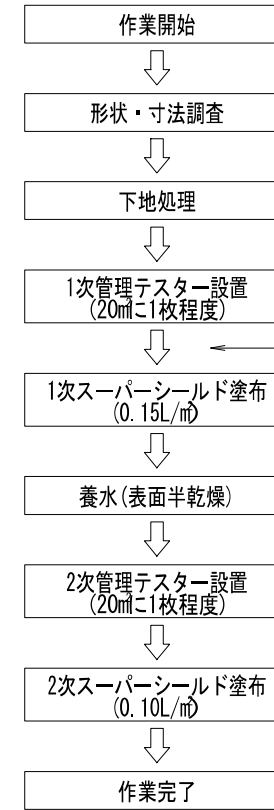
(中性化対策・微細なひび割れ補修等)

- ※ 上部0o部(地覆・床版・箱桁)を対象とする。
- ※ ケイ酸塩系含浸材



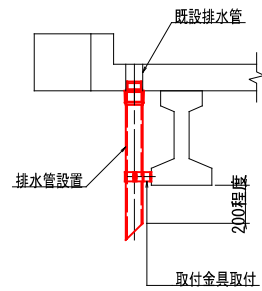
- ※ スーパーシールド塗布はコンクリート面を湿潤状態にして行い、塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
- ※ 下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについてはプラスチックやケレンによって除去・清掃すること。
- ※ 含浸工はスーパーシールドを参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従うこと。

施工手順

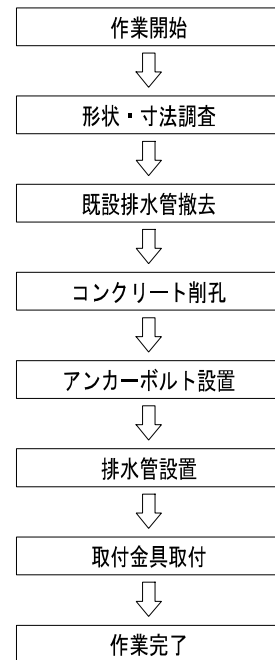


補助工法 ストレングス剤
0.25L/㎡

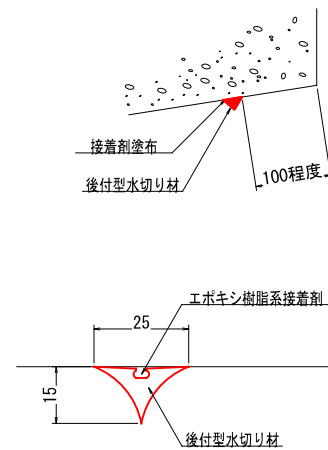
排水管補修工 (参考図)



施工手順

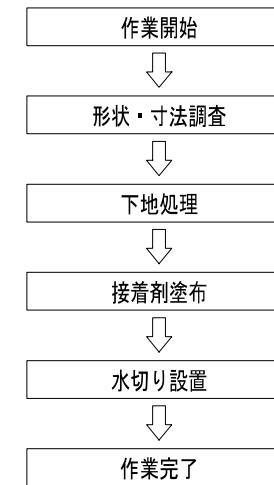


水切り工 (参考図)



- ※ 水切り設置面のコンクリートは、不陸のないよう調整を行うこと。

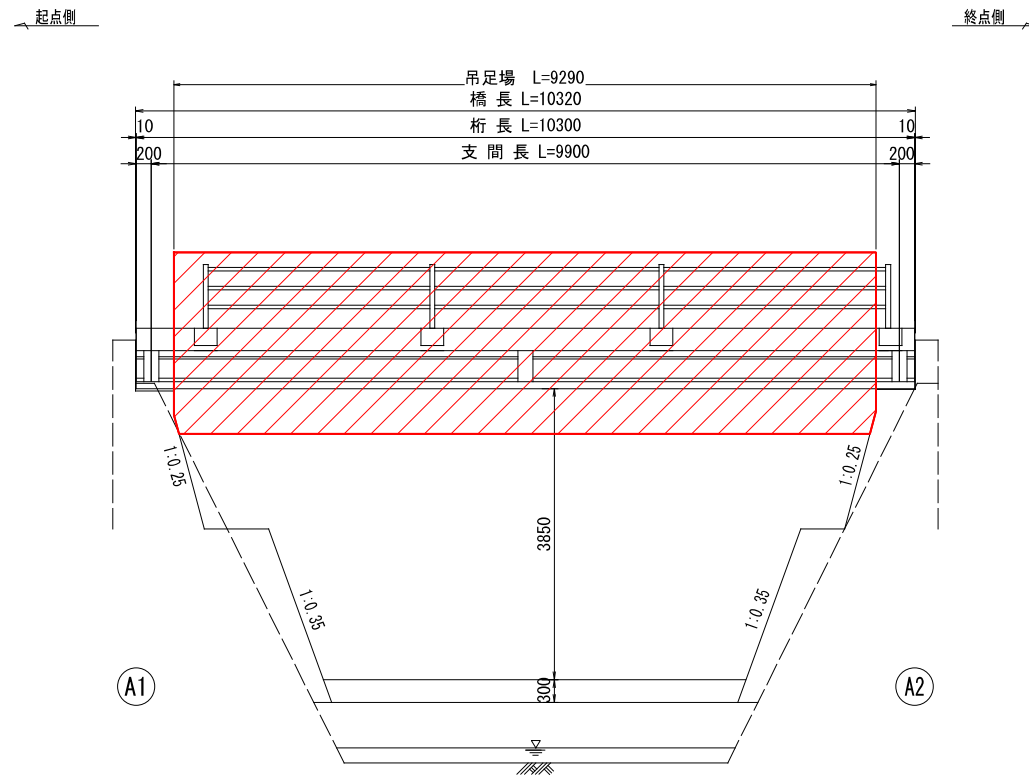
施工手順



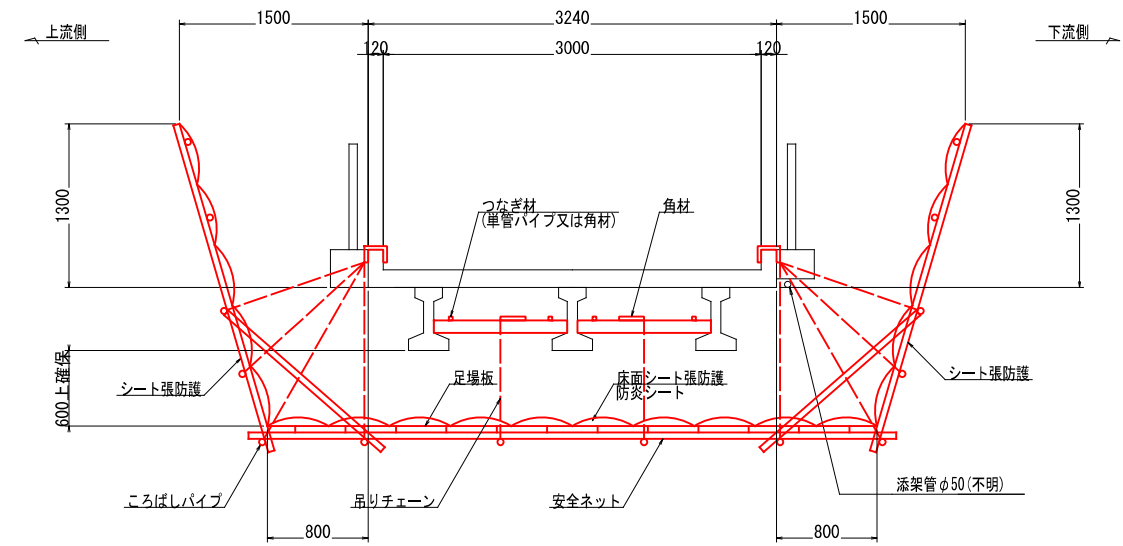
図面番号	4/5	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	石井谷1号橋 補修詳細図(参考図)	番号	1/2
路線名	市道本郷町石井谷線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

石井谷1号橋 仮設足場図(参考図)

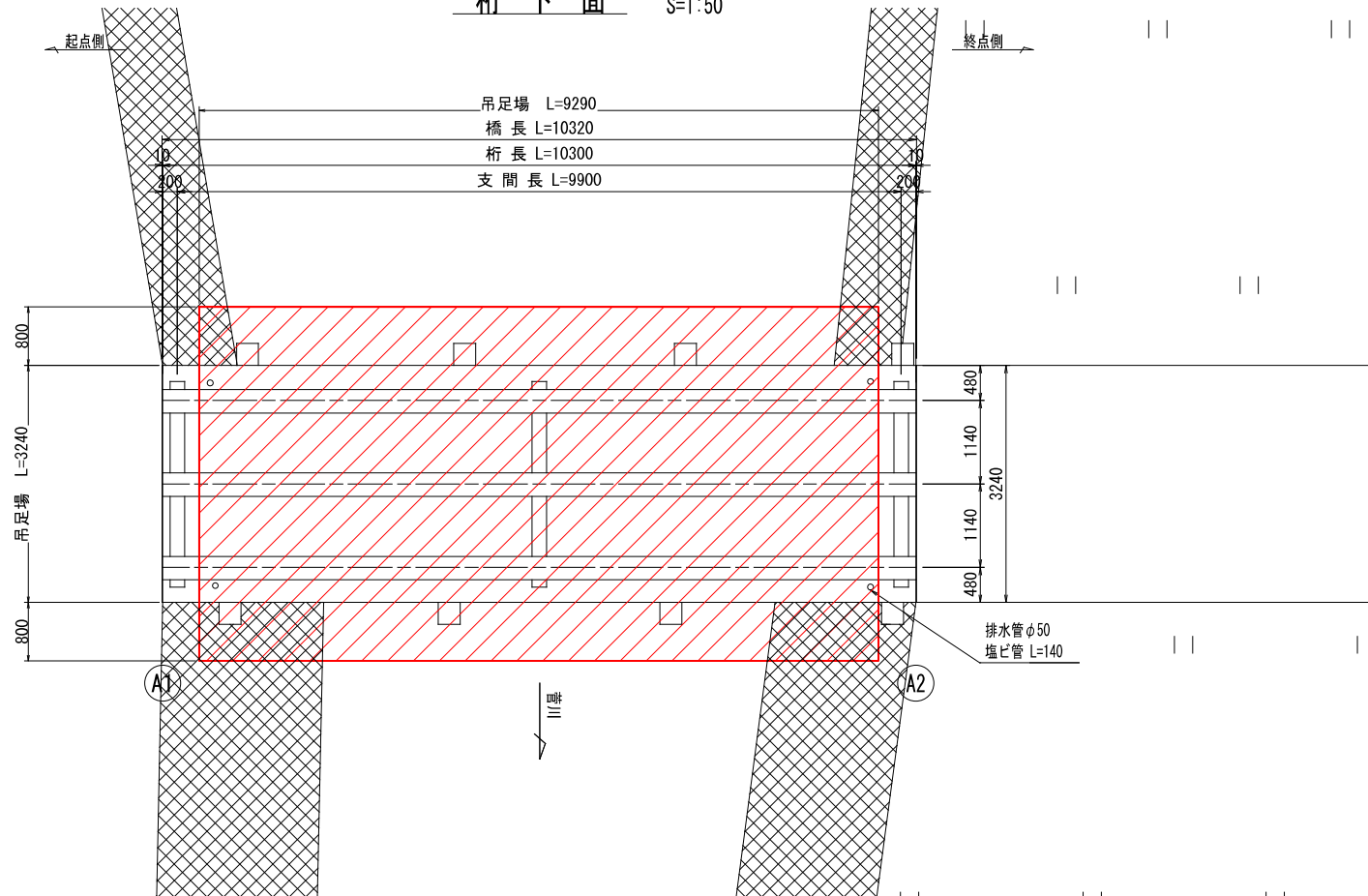
側面図 S=1:50



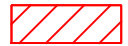
断面図 S=1:30



桁下面 S=1:50



凡例

 吊足場(PC橋補修用足場)

- ※ 足場架設は添架物の干渉を避けて設置すること。
- ※ 添架物に干渉する場合は、防護を行うこと。

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

図面番号	5	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事(市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋)		
種別	石井谷1号橋 仮設足場図(参考図)	番 号	2 2
路線名	市道本郷町石井谷線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

橋梁補修工事（市道本郷町中筋横断線船木大橋外1橋）位置図



凡例	砂防	急傾斜地	地すべり
■	砂防指定地	■	急傾斜地崩壊危険区域
			地すべり防止区域